

# 第一小学校

10月16日～10月18日(2泊3日)

## 〇日程表

| 10月16日(火) |                         | 10月17日(水) |                       | 10月18日(木) |                      |
|-----------|-------------------------|-----------|-----------------------|-----------|----------------------|
| 8:30      | 出発式                     | 6:00      | 起床・健康観察               | 6:00      | 起床・健康観察              |
| 10:50     | 「ぶどうの丘」到着               | 6:30      | 朝の会                   | 6:30      | 朝の会                  |
|           | 昼食                      | 7:06      | 朝食                    | 7:00      | 朝食                   |
| 11:50     | 「富士山・富士五湖」について<br>学習発表会 | 9:00      | 大日影トンネル遊歩道<br>ハイキング出発 | 7:40      | 荷物整理・清掃              |
| 12:10     | 「ぶどうばたけ」到着              | 11:40     | 昼食                    | 9:00      | 「山梨の自然」について学習<br>発表会 |
|           | 「ぶどう」について学習発表会          | 13:00     | 景德院散策                 | 9:15      | 草木染め体験               |
| 12:30     | ぶどう収穫体験                 | 13:30     | 「景德院」について学習発表会        | 11:30     | ネイチャーゲーム             |
| 14:00     | 「大和自然学校」着               | 15:00     | 「名産品」について学習発表会        | 12:30     | 昼食                   |
|           | 開校式・避難訓練                | 15:30     | ほうとう作り体験              | 13:20     | 閉校式                  |
| 15:12     | ぶどうジャム作り体験              | 18:48     | 星空観察                  | 15:25     | 解散式                  |
| 17:40     | 夕食                      | 19:30     | 学習記録・手紙書き・入浴          |           |                      |
| 18:30     | 学習記録・手紙書き・入浴            | 21:00     | 消灯                    |           |                      |
| 21:00     | 消灯                      |           |                       |           |                      |

## 〇プレセカンドスクールにおける学習の概要

### ① 事前の学習内容

2学期のけやきの時間（総合的な学習の時間）において、プレセカンドスクールの主な活動について課題解決的な学習を行った。その結果、プレセカンドスクールへの関心・意欲が高まり、当日の活動がより主体的なものになった。主な学習経過を以下に示す。

#### (i) プレセカンドスクールのガイダンス

初めての宿泊行事に向け、活動の概要、宿舎の様子、持ち物について児童に説明を行った。同時に、けやきの時間に課題解決的な学習を行うことを知らせ、課題別にグループ分けを行った。「大和村・勝沼町」「ブドウ」「名産品」「自然」などの課題を、それぞれについて5・6名で調べることにした。

#### (ii) 課題解決的な学習

上記の課題について、更に詳しく調べる内容を分け、児童が分担して学習を進めた。「大和村・勝沼町」グループを例に挙げると、富士山及び富士五湖の地形、歴史、気候、生息している動・植物等について、書籍やインターネットで調べたりした。

# 山梨県甲州市大和町・勝沼町

参加人数 男子34名 女子33名  
計67名

調べた内容をまとめる際には、国語科の「書く」ことを中心にした単元の中で、模造紙にまとめた。

それをプレセカンドスクール当日、他の児童に向け発表し、調べた内容を4年生全員で共有できるようにした。

## ② 事後の学習内容

- ・学級活動の時間を使い、係の反省を行った。自己評価だけでなく相互評価を取り入れることによって、集団への所属感を今まで以上に高めることができた。
- ・国語の作文単元として、「プレセカンドスクールでの思い出」を作文にまとめた。その後、作品を読み合い、互いの成果を認め合った。
- ・けやきの時間に、事前に調べた内容、現地で分かったこと、感想をコンピュータでまとめさせた。デジカメで撮った写真を取り込み、学習した内容と感想を取り入れた作品ができた。イントラバケツを使うことによって、互いの作品を見る機会を設けた。

## ○特色ある活動内容

### <自然体験活動>

#### 1、大日影トンネルハイキング

ハイキングという課題への取り組みを楽しく行うとともに、体の基本的な動きや運動の基礎となるよい動きができるようになること。明治時代に造られたトンネルの観察によって、歴史と文化とのかかわりについての考え方をもつようにすること。以上の2点がねらいである。児童が互いに協力し合って最後まで歩くことによって、人間関係が深まった。また、秋の自然の変化に気付く機会になった。

### <学習体験活動>

#### 1、ブドウ収穫体験

見学と実習を通して、山梨県の代表的な特産品ブドウについて「生産に携わる人々の願いや働きや苦心について考える。」ことをねらいとした。山の斜面に広がるブドウ園で、実際にブドウをもぎ取ったり、農園で働く方から気候、品種、加工食品等について話を聞いたりして、地域の特性を知った。

#### 2、ほうとう作り

郷土食を作る体験的な学習を通して、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることをねらいとした。甲州名物のほうとう作りを行った。麺を作り、野菜をきざみ、直径1mの大鍋で煮込む活動を通して、協力してものを作る大切さを学

ぶとともに、地域の特色ある食事に触れる機会となった。

### 3、草木染め

自然に生えている草木を使った染め物を作る活動を通して、昔からの暮らしがどのように変化してきたかについて考え方をもつようにすることがねらいである。宿舎近くの山に自生する様々な野草を使って、染め物を作った。もの作りで終わるのではなく、身近な自然を生かした生活の知恵についても考える良い機会となった。

## ○児童の感想

- ・ブドウジャムは特別な味でした。あまり砂糖を入れなくても、甘くなったのでびっくりしました。家族もおいしいと言ってパンにつけて食べていました。(ブドウジャム作りから)
- ・ネイチャーゲームでは、自然の不思議についてたくさんの発見をすることができました。また、動物の身になって考えることもできました。(ネイチャーゲームから)
- ・めんをこねる時、厚さがばらばらになった。名人に手伝ってもらおうと、あっという間に形になったのでおどろいた。(ほうとう作りから)

## ○保護者の感想

- ・プレセカンドで子どもが成長したと思うところは、自分のことは自分ですするというくせがついたことです。また、周りの人のことを考えて行動するようになったようにも感じます。
- ・プレセカンドから戻ってから、ふとんを率先してたたんだり、玄関の靴をそろえたりしています。自分で何でもやるという習慣が付き、大変喜んでおります。

## ○総合的な学習の時間との関連について

〈事前〉ガイダンスで、ねらい、主な活動、宿泊場所等を説明した。特に、「宿泊による生活時間を活用し、生活上の自立に必要な知識・技能や生活習慣を身につけるとともに、一人一人の子どもの創意を喚起し、情操を養い、個性の伸長を図る。」というねらいを強調し、事前にプレセカンドスクールは始まっていることを知らせた。その結果、課題の調べ学習にも意欲的に取り組み、細かくまとめることができた。

〈実施中〉出発式、閉校式以外を総合的な学習の時間としてカウントした。児童が事前に学習を行ったことを活動の前に発表させてから、活動に取り組むスタイルを取り入れたところ、学習意欲が高まり、主体的に考え、取り組む児童がほとんどであった。

〈事後〉事前に調べたこと、活動を通して学んだことを「一太郎スマイル」を使ってコンピュータでまとめさせた。自分だけでなく、友達との情報交換を取り入れることで、互いの良さを認め合う機会になった。

## ○セカンドスクールとの関連について

- ・初めての宿泊を伴う行事であるので、児童及び保護者の不安を取り除くことが必要であった。そこで事前に、児童、保護者両方に面談の時間を設定した。健康面、精神面で不安を感じていることを把握し、説明や方策を話し合うことによって不安を解消した。より長期の宿泊を伴うセカンドスクールでも同様に行うとよい。
- ・本校のセカンドスクールは民宿に分泊する形態を採っている。初めての宿泊行事が分泊という従来の形よりも、第4学年のうちに共同の施設に泊まる経験をしていただいた方が、セカンドスクールでの分泊が効果を挙げられると思われる。特に、基本的な生活習慣、集団での決まり等、近年の児童が失っているとされる規範、及び精神面での不安解消には有効である。
- ・今回プレセカンドスクールを行った勝沼町及び大和村は甲府盆地に位置し、果実栽培を中心とした農業が盛んである。山の斜面に広がるブドウ園で、実際にブドウをもぎ取ったり、農園で働く方から気候、品種、加工食品等について話を聞いたりして、地域の特性を知ることができた。また、5年生のセカンドスクールでの稲刈り体験後に、本活動を比較することによって第5学年社会科の「我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色」がより深まりのある学習になることが期待できる。更に、山梨県の郷土食として有名な「ほうとう」をプレセカンドスクールで取り上げたことにより、米中心の長野県飯山市と土地利用の違いの他、食文化にも違いがあることに気付くきっかけとなる。

## ○次年度に向けての反省・課題

- ・実地踏査については、人数・期間の増加を求める。学校ごとに目的地、内容を決定するスタイル維持のためには、学校内での共通理解が必要なため。また、レンタカーの利用だけでなく、タクシーを利用することが経費削減につながる。
- ・「ほうとうづくり」は山梨の郷土食であり、5年生社会科で米を学習する導入としても有効である。講師2名、引率教員5名、生活指導員7名、宿舎スタッフ3名の合計17名で67人の児童を見た。安全に4年生が活動するには、この程度の大人の配置が不可欠である。
- ・今回の宿舎「大和自然学校」は、4年生が初めての宿泊学習を行うには適している。しかし、1部屋（6畳）に5名が宿泊するのが限度であり、総勢60名を越えると、広間を使うことになる。また、保健室が別館になる。利用は80名を上限として引き継ぎを行う。
- ・自然体験活動を増やすために、宿舎付近の散策活動を取り入れるとよい。児童のグループに講師1名ずつを配し、野草・樹木など植物の観察や木の実集めを行うとよい。



【ぶどうのもぎ取り体験】



【ほうとう作りの麺打ち作業】

# 第二小学校

10月17日～10月19日(2泊3日)

## 〇日程表

| 10月17日(水) |             | 10月18日(木) |                    | 10月19日(金) |              |
|-----------|-------------|-----------|--------------------|-----------|--------------|
| 7:20      | 学校集合・出発式    | 6:00      | 起床・検温              | 6:00      | 起床・検温        |
| 7:40      | 学校発         | 6:30      | 朝会・体操              | 6:30      | 朝会・体操        |
| 10:10     | 海ホテル(休憩)    | 7:00      | 朝食                 | 7:00      | 朝食           |
| 11:30     | 野鳥の森着       | 8:40      | 宿舎発                |           | 荷物整理・部屋の片付け  |
|           | 昼食(野鳥の森)    | 9:00      | 沖の島着               | 8:30      | 閉校式          |
| 12:15     | 野鳥の森を歩こう    | 9:00      | ビーチコーミング・牧畜体験      | 9:30      | ホテル発         |
| 14:15     | 野鳥の森発       | 11:40     | 沖の島・須藤牧場発          | 10:30     | 君津農協・みらい着    |
| 14:45     | 宿舎着         | 12:00     | ビーチコーミング・牧畜体験終     |           | 枝豆収穫体験       |
| 15:00     | 開校式         | 12:20     | 宿舎着、昼食             |           |              |
|           | 荷物整理・避難訓練   | 13:30     | 宿舎発                | 12:00     | 昼食(君津農協・みらい) |
| 15:30     | 房州うちわ作り     | 14:00     | ビーチコーミング・牧畜体験      |           |              |
| 18:00     | 夕食・検温       | 16:00     | ビーチコーミング・牧畜体験終     | 13:00     | 君津農協・みらい発    |
| 19:00     | 入浴          | 16:45     | 宿舎着夕日鑑賞、海岸における自然探索 | 13:30     | 海ホテル(休憩)     |
| 20:00     | 1日の反省・班長会   | 18:00     | 夕食・検温              |           |              |
|           | 明日の準備・部屋の整理 | 19:00     | 入浴                 | 13:45     | 海ホテル発        |
|           | 葉書き／日記書き    | 20:00     | 海ほたる鑑賞会            | 15:30     | 学校着・解散式      |
| 21:00     | 就寝          | 20:30     | 1日の反省・班長会          | 15:45     | 解散           |
|           |             |           | 明日の準備・部屋の整理        |           |              |
|           |             |           | 葉書き／日記書き           |           |              |
|           |             | 21:00     | 就寝                 |           |              |

## 〇プレセカンドスクールにおける学習の概要

### ① 事前の学習内容

- ・プレセカンドスクールのめあてについて理解する。
- ・集団行動のルール、集団生活のマナーについて理解する。
- ・活動について一人一人が課題をもって調べ、学年で中間発表を行う。

#### 【調べた課題】

- ・館山の気候、自然について
- ・海ホテルは、どうやって光るのか。
- ・館山野鳥の森には、どのような木があり、野鳥がいるのか。
- ・房州うちわの歴史、作り方、どんな特色があるか。
- ・沖の島・ビーチコーミングではどんな生き物が見られるのか。
- ・館山の歴史、また、どんな戦争遺跡があるのか。
- ・牧場の仕事について、牛の乳搾りは、どのようにするのか。牛の種類はどんなものがあるか。

など

## ② 事後の学習内容

総合的な学習の時間を使って、自分が調べてきた課題について3年生に発表をした。自分の課題を分かりやすく伝えるためどんな内容、方法で発表したらよいかグループで話し合いを行った。また、撮ってきた写真から伝えたいことについての写真を数枚選び、写真が入った説明文を書いた。友だち同士で聞き合い、よりよいものにするために発表文の推敲を重ねた。声の大きさや話す順序なども工夫をし、発表の練習を行い、3年生に発表した。発表は、自分が書いた説明文をもとに、模型や実物、絵や図、写真などを使って具体的に分かりやすく説明をし、クイズを入れて興味がわくように発表を行った。まとめ方では、社会科で行っていた壁新聞、巻物形式、紙芝居など、さまざまな手法で行った。

## ○特色ある活動内容

### <自然体験活動>

- ・野鳥の森は、自然が豊かでアップダウンもあり、歩くのに適した山であった。展望台から見る館山の街や海はとてもきれいで、子どもたちは山登りの疲れを忘れて見ていた。また、資料館では野鳥の声が聞けたり、ビデオを見せていただいたりして館山の自然や野鳥についての知識を得ることができ、子どもたちは楽しそうだった。
- ・沖の島無人島探検は、2つのグループに分かれて午前と午後に活動を行った。グループごとにガイドの方についてもらって島を一周した。島の自然や生き物、歴史、植物、環境保護などについて説明をして頂いた。また、足元に落ちている貝などを拾ってガイドの方に尋ねると、その場ですぐに答えてくださり、子どもたちは知的好奇心をおおいに満足させることができた。海岸に打ち寄せられた様々なものを手がかりに沖の島の自然、生物について学ぶことができた。



【ビーチコーミング・貝拾い】

- ・須藤牧場の活動も、2つのグループに分かれて午前と午後に活動を行った。牧場では140頭もの牛に驚き、牧場の仕事、牛の性質や体の仕組みについての話に熱心に耳を傾けた。牛のえさやり、牛の乳搾り、子牛の世話、放牧の体験を行った。牛の乳搾りでは子どもたちは、搾り方を事前に教えてもらい分かっていたが、やってみると強く握ってしまい、うまくいかない子どももいた。しかし、生き物のぬくもりに触れ、牛乳の温かさなどを実感し、嬉しそうであった。また、子牛に授乳をするなど、他にもいろいろな動物とのふれあいがあり、生き生きとして活動した。



【須藤牧場、子牛の世話】

「命とふれあう」という意味でもよい体験となった。

- ・君津農協「みらい」では枝豆の収穫体験をおこなった。大豆は小糸在来という名で、味がと



でも良く美味しいものであり、国内ではこのあたりでしか栽培されていない珍しい品種であった。一人一人の児童が、根のしっかり張った大豆を力一杯引っ張り、そして、豊かに実った豆の房を丁寧にとった。時間のたつのも忘れて子どもたちは夢中で収穫していた。お昼には、収穫した枝豆をゆでていただいて味わうことができ、収穫の喜びも味わった。食育だけでなく情操にもとてもよい体験であった。



【枝豆の収穫体験】

## ＜学習体験活動＞



### 【房州うちわ作り】

- ・房州うちわ作りは24工程のうち2工程だけであったが、うちわ作りの道具や作業を見せてもらったり、うちわの歴史についての話を聞かせてもらったりできたので、子どもたちは、関心をもって取り組んでいた。事前に作ってきた折り染めの和紙が作り方を教えていただいてきれいなうちわに仕上がりに、大変満足していた。社会科の伝統工芸の良い体験学習となった。
- ・海ホテル鑑賞会では、海ホテルの生態についてお話を聞き、その後アクリル板に電気を流して実際に青く光る海ホテルを見せていただいた。神秘的に光る様子に子ども達は思わず歓声を上げ、より海ホテルに興味をもつことができた。
- ・3日間を通して自分の学習課題についてメモをとるだけではなく、デジタルカメラで写真を撮った。疑問に思っていたことや予想していなかったことをいろいろな角度から撮って記録をしていた。
- ・一日の活動内容についてふり返り、詳しく日記に書くことができた。
- ・「レッツゴー沖の島」（ホテルの方に地元で親しまれている曲として紹介していただいた。）をテーマソングとして事前に練習し、子どもたちに振り付けを考えさせ、ホテルの方や観光協会の方の前で披露した。大変喜んでいただき、子どもたちも満足そうだった。

## ○児童の感想

- ・野鳥の森の見晴台では海が空のようにきれいでした。緑が多くて、時々鳥の鳴き声も聞こえました。深く空気をすってみると空気もきれいでした。また、力がでてきたような気がしました。
- ・うちわが出来上がって見てみると世界に一つしかない私が作ったうちわなので、とてもかがやいていました。大切に使いたいです。



【海ホテルの観察】

- ・牧場ではいろいろ教えてもらいました。牛はこわがりでおどろくと牛乳を出さなくなることや牛は下の歯はあるけれど上の歯はないことを知ってびっくりしました。
- ・世話をする人が4人しかいないのに140頭もの牛を世話できるのは、すごいと思いました。やぎとミニブタや羊にもえさをあげました。草を横にしたら食べてくれました。
- ・ビーチコーミングで「ここは海の底が盛り上がってできたんだよ。だから貝が埋まっているよ。」と教えてもらって見てみたら、本当に貝みたいなものが足下にあってびっくりしました。

- ・今まで苦手だったことができるようになったり、きれいな物が食べられるようになったりしました。友達と協力することもたくさんあってよかったです。
- ・私はあいさつがきちんとできるようになりました。班のみんなで協力してがんばれたので、けんかもなく3日間気持ちよく過ごせました。とても楽しかったです。

## ○保護者の感想

- ・「楽しかった」といって帰ってきました。初めての宿泊行事でしたが、お友だちと協力して仲良く過ごせたようで嬉しく思いました。帰ってきてからは、身の回りのことも一人でやるようになり、成長を感じました。2泊3日の集団生活はとてもよい経験になったと思います。
- ・プレセカンドでは、どの活動も楽しかったらしく、自分が経験したことを家でたくさん話してくれました。その話しぶりから充実したよい3日間であったことがうかがえました。

## ○総合的な学習の時間との関連について

- ・プレセカンドスクールに關係する事前、事後の学習を総合的な学習の時間として計画的に行った。生活については、布団たたみや靴を揃えて脱ぐ等、自分ができていないことについて、夏休み中に生活のめあてとして取り組んだ。また、学習は体験する活動について一人一人が課題を持ちインターネットや本で調べたり、家の人に聞いたりしてまとめた。そしてプレセカンドスクール前に中間発表として調べて分かったことを全員が発表し、学習したことをガイドブックとしてまとめた。また、プレセカンドスクール後には、自分が成長をしたことについて振り返りを行った。また、学習の本発表としては、自分が調べてきた課題について3年生に分かりやすく伝える活動を行った。模型を作ったりクイズを考えたりして、より分かりやすく伝えようと一人一人が工夫することができた。

## ○セカンドスクールとの関連について

- ・セカンドスクールは、山（利賀村）の学習になるので、プレセカンドスクールでは海の学習ができるように実施地を選んだ。海と山の両方の地で学ぶことにより、日常生活では気付きにくい海と山の関係を捉えて、地球環境を考える視点をもつことができると考える。
- ・規律正しく集団生活ができるように配慮した。そのために事前指導の時から集団生活の中で全員が気持ちよく生活できるためにはどんなことが大切かを考えさせ、話し合いを行った。

## ○次年度に向けての反省・課題

- ・野鳥の森は山歩きに絞った。十分に時間をとって自然に親しみながら歩くようにしたい。
- ・うちわ作りは、貴重な体験ができてよかった。伝統工芸を知るという意味でもよかった。続けたい。
- ・ビーチコーミングは、海や沖ノ島の自然について教えてもらい、子どもたちは夢中で貝等を探していた。貝の名前などをすぐ教えてもらえるが、そのことだけに終始せず、事後の学習で歴史や環境保護の視点でも館山やその海のことを考えさせるようにしたい。
- ・牧畜体験と農業体験は子どもたちの情操にとっても良いと思った。続けたい。



# 第三小学校

9月25日～9月27日(2泊3日)

## ○日程表

| 9月25日(火) |             | 9月26日(水) |            | 9月27日(木) |             |
|----------|-------------|----------|------------|----------|-------------|
| 8:10     | 学校集合・出発式    | 6:00     | 起床・検温      | 6:00     | 起床・検温       |
| 8:30     | 学校出発        | 6:30     | 朝の会・散歩     | 6:30     | 朝の会・散歩      |
| 11:30    | 富士5合目着・昼食   | 7:30     | 朝食         | 7:30     | 朝食          |
|          | 富士山登山       | 8:00     | 部屋の整備      | 8:00     | 片付け・清掃      |
|          | 5合目→6合目→5合目 | 9:00     | 河口湖ハイキング   | 9:10     | 閉校式・ホテル発    |
|          |             | 11:00    | 小海公園       | 10:00    | ぶどうばたけ着     |
|          |             | 12:00    | 昼食         |          | ・作業体験       |
| 15:15    | 5合目発        | 13:00    | 湖岸遊び・芝生遊び  |          | ・農家の方のお話を聞く |
| 16:10    | ホテル着・避難訓練   |          | 写生会        | 12:00    | 昼食          |
| 16:30    | 入浴          | 15:00    | ホテル到着・入浴   |          | ・作業体験       |
| 18:00    | 開校式・夕食      | 18:00    | 夕食         | 14:00    | ぶどうばたけ発     |
| 19:30    | 絵手紙書き       | 19:30    | 作品鑑賞会      | 15:40    | 学校着・解散式     |
| 21:00    | 健康観察・学習の記録  | 21:00    | 健康観察・学習の記録 |          |             |
| 21:30    | 消灯          | 21:30    | 消灯         |          |             |

## ○プレセカンドスクールにおける学習の概要

### ① 事前の学習内容

- ・プレセカンドスクールのめあてを確認し、それぞれのめあてについて自分ではどのように取り組んでいくか具体的な目標を立てた。
- ・当日の行程や持ち物について説明した。
- ・バスの中、見学先、ホテルでは、集団行動をとることとなる。そのとき守るべきマナーやルールについての指導を行った。
- ・検温や健康観察の目的と方法の理解。
- ・乗り物酔いや高山病などについての予防法を知り、自分に合った準備をした。
- ・富士登山の服装や登り方などを学習した。
- ・班長、副班長、各係を決め、役割分担をした。
- ・生活指導員との交流、自己紹介。
- ・富士山・河口湖・ぶどうと大きく三つのテーマに分かれて、それぞれのテーマについて本やインターネットを活用して資料集めを行った。
- ・絵手紙作りに使う印鑑を作った。

# 山梨県南都留郡富士河口湖町

参加人数 男子45名 女子32名  
計77名

## ② 事後の学習内容

- ・ プレセカンドで学んだことや楽しかったことを、作文にまとめた。
  - ・ 富士山・河口湖・ぶどうのテーマについて、事前に集めた資料と実際にプレセカンドスクールに行って学んだことを新聞にまとめることで、個人の学習のまとめとした。
  - ・ 2泊3日の全日程を16のテーマに分け、3年生に伝えたいことやわかったことをポスターセッションの形式でまとめた。そして、保護者と来年度プレセカンドスクールに参加する3年生を対象に発表会を開催した。
- |          |          |            |           |
|----------|----------|------------|-----------|
| ①バスの中の様子 | ②富士山について | ③登山について    | ④部屋の中での様子 |
| ⑤ホテルの中   | ⑥お風呂の入り方 | ⑦河口湖ハイキング  | ⑧写生会      |
| ⑨湖畔遊び    | ⑩お弁当     | ⑪絵手紙       | ⑫作品鑑賞会    |
| ⑬食事のしかた  | ⑭朝の散歩    | ⑮ぶどうの木の皮むき | ⑯かさふき     |
- ・ お世話になったレイクサイドホテルの方、ぶどう畑の方にお礼の手紙を送った。

## 〇特色ある活動内容

### <自然体験活動>

#### 1、富士山登山

晴天に恵まれ、予定通りに富士登山を行うことができた。バスで5合目に到着するとまずその気温の違いに驚かされた。標高が高くなると、それだけ気温が下がるということを身をもって学習することができた。5合目となると気圧も大きく変化する。児童は一人一人、空のペットボトルを持っていった。登る前では、特に変化はなかったが、5合目に持ってくるとペットボトルが破裂しそうにふくらむという現象を実際に見ることができた。空気が違うということに気付くことができた。

気圧の変化に慣れることも含め、5合目で食事をとった。体調を崩す児童もなく、しっかりと準備をして登山に挑むことができた。

そして、澄みきった空のもと6合目までの登山を行った。富士の麓にある湖もはっきりと見ることはできた。登山の途中では、地形の様子や植物の様子を知ることができた。事前学習では体験することのできない、溶岩の上を歩いたときの感触や6合目から見られる植層の変化も知ることができた。また、集団で登山をするときに注意すべきことも学んだ。一步一步小さな歩幅で歩いていくこと、前に歩いている人と離れないようにすること、水分補給の仕方や服装の準備・調節の仕方を守ることが登山の基本であることも学習することができた。



【登山の様子】

## 2. 河口湖ハイキング

ホテルを出発し、河口湖沿いを小海公園までの道のりを約2時間かけてハイキングをした。湖畔の景色を見ながらのハイキングは気持ちのいいものであった。また、さまざまな植物や動物も見ることができた。湖畔で休んでいたサギを見つけると「こんなところにもいるんだ」「初めて見た」「～～でも見たことあるよ」などと話をしながら歩いた。釣りをしている人を見つけると、「どんな魚がとれるんだろう」「ぼくはやったことあるよ」「疑似餌とか釣り糸とか捨てられていることもあるんだって」などと経験したことや環境についても考えることができた。

小海公園は、鮮やかな緑の芝生が一面に広がっていた。芝生の上をかけまわったり、鬼ごっこや相撲をして遊んだり、子どもたちは河口湖の自然を満喫できたようだ。

写生会では、コンテを使って絵をかき、ハイキングをしながら考えた詩を絵の中に書いた。「風・光・大きさ」など感じたことを一枚の画用紙に表すことができた。

## <学習体験活動>

### 1. 絵手紙作り

1日目の夜は、ホテルで河口湖畔にある植物の葉や富士山の火山活動によりできた火成岩をもとに絵手紙づくりを行った。自分たちが見てきた植物などを実際によく観察しながら、マジックペンとコンテを使って描き、自分なりの言葉を一言添えた。

事前学習で、絵手紙の作り方を学習したため、取り組み方はよく理解していた。その上で自分が見てきた植物や富士山の石を描いたので、迫力のある作品を作ることができた。下書きをせず直接マジックペンで輪郭を描いたことで、緊張感をもちながら取り組むことができ、また一人一人が個性ある作品にすることができた。そして、自分が植物や石を見てさわって感じた一言と事前に作成した印鑑を押すことで立派な絵手紙を作ることができた。

<児童の絵手紙の一言例>

- ・穴がいっぱいあいた富士山の溶岩
- ・いつまでも健康で 富士山のみどり
- ・広くきれいな富士山からのけしき
- ・いつも富士山を見ているみどり きれいだな

### 2. ぶどうばたけでの作業体験

3日目のぶどうばたけでは、2種類の作業体験を行った。

#### ①ぶどうにかぶせるビニールのかさふき

一人50枚きれいにすることを目標にかさふきを行った。どんどんきれいになっていくかを見て、さらにもっとやろうとがんばっていた。使い捨てをせずに、このような作業をして、何回も使うという農家の姿勢を知ることができた。使えるものは大切に何度でも使うというリユースをぶどう作りの中で実践されていることに児童は新たな発見をすることができた。

#### ②ぶどうの木の皮むき

ぶどうの木は、冬になる前に皮むきの作業を行う。ぶどうばたけの三森さんがその理由を説明してくれた。「寒くなるとぶどうの木と皮の間に虫が入って冬を越そうとします。その虫は木を弱らせてしまいます。そのために、皮をむきます。ぶどう作りで、非常に大切な作業の1つです。」それを聞いて児童は納得をして、熱心に取り組んだ。目に木のゴミが入らないようゴーグルを準備していったのが、役に立った。

## ○児童の感想

- ・富士登山では、最初の方は大丈夫と思っていましたが、だんだんきつくなってきました。けれど頑張って歩きました。6合目に着いた時にはあまりのうれしさに疲れがふっとんでしまいました。6合目は風がすごく強くなかなかやまなかったけれどそれがとても気持ちよかったです。
- ・河口湖を初めて見た時、「なあんだ、よく見かけるところ普通の湖じゃないか。」と思いました。けれど、写生会をする時に見た河口湖の水はコンテやクレパスでは表せられないぐらいのちょっと白っぽくて、きれいな水の色でした。
- ・ぶどう農家のまわりはどこもかしこもぶどう畑でびっくりしました。作業体験では、ぶどうにかぶせるかさを雑巾で拭きました。一人50枚ぐらい拭きました。昼食後は木の皮むきの作業です。べりべりとよくはがれておもしろかったです。



【ぶどうの木の皮むき作業】

## ○保護者の感想

- ・天気がよかったのが何よりです。日本一の富士山の登山を経験できたのは、子どもにとってよかったと思います。
- ・環境が変わるため、体調管理が心配でしたが、元気に行ってこられてよかったです。ぜん息の発作を心配していましたが、出ませんでした。
- ・部屋の中で、友達といろいろな話をしたり、遊んだりしたことがとても楽しかったようです。
- ・何種類ものぶどうの種類を覚えて、教えてくれました。
- ・プレセカンドスクールから帰ってきてから、子どもが明るく、積極的になったと思います。この様子が続いてくれるといいです。

## ○総合的な学習の時間との関連について

集団で行う活動（学習、食べる、寝る、お風呂に入るなど）を経験し、集団行動のルールやマナーを学んだ。ファーストスクールで学習をしていく上での基礎となる部分を、プレセカンドスクールで学べたことは非常に意義がある。豊かな自然の中で、親切な現地の人々の中で、友達や先生と一緒に学んだことは、児童の大きな力となるであろう。富士山や河口湖、ぶどう農家についての学習は環境問題や自然保護、食育、郷土への関心などさまざまな学習へとつながる教材である。今後さらに各教科との関連を図り、実践していきたい。

## ○セカンドスクールとの関連について

長期宿泊のセカンドスクールの前に、集団での生活を経験できたことに非常に意義があった。廊下歩行や食器の片付けをやり直してできるようにしたり、班の一員として責任をもって仕事を行ったりしたいという経験を自信として5年生でのセカンドスクールへの意欲につなげたい。

## ○次年度に向けての反省・課題

河口湖ハイキングのコースを工夫し、さらに有意義な自然体験活動ができるようにしたい。

# 第四小学校

10月10日～10月12日(2泊3日)

## ○日程表

| 10月10日(水) |             | 10月11日(木) |          | 10月12日(金) |           |
|-----------|-------------|-----------|----------|-----------|-----------|
| 7:30      | 学校集合、出発式    | 6:00      | 起床       | 6:00      | 起床        |
| 8:00      | 学校出発        | 7:00      | 朝食       | 7:00      | 朝食        |
| 11:45     | 片品村東小川着、開校式 | 8:30      | きのこ狩り    | 8:30      | りんご狩り体験   |
| 12:00     | 昼食          | 11:15     | 昼食       | 10:15     | 千明牧場周辺散策  |
| 13:00     | にじますつかみ取り体験 | 12:00     | 体験館に移動   |           | 野菜の収穫体験   |
| 15:00     | 白根魚苑内散策     | 13:20     | 稲刈り体験    |           | 馬の観察、     |
| 16:00     | 各宿に移動し顔合わせ  | 15:30     | 稲刈り終了    |           | 炭焼き釜の観察   |
| 17:00     | 健康観察        | 16:30     | 各宿の方からの話 | 11:45     | 昼食        |
| 18:00     | 夕食          | 17:00     | 健康観察     | 13:45     | 閉校式、片品村出発 |
| 19:30     | 入浴          | 18:00     | 夕食、入浴    | 17:00     | 学校到着、到着式  |
| 20:30     | 学習の記録       | 20:30     | 学習の記録    | 17:30     | 解散        |
| 21:30     | 消灯          | 21:30     | 消灯       |           |           |

## ○プレセカンドスクールにおける学習の概要

### ① 事前の学習内容

- ・ プレセカンドスクールのめあてについて
- ・ 集団での宿泊に関する心構えについて
- ・ グループ編成と係の仕事について
- ・ 持ち物について
- ・ 群馬県片品村について
- ・ しおりの活用の仕方とスケジュールについて

### ② 事後の学習内容

プレセカンドスクールでの3日間の体験と感動を、学習発表会で全校児童と保護者に対して発表した。発表に向けて各課題別グループで内容をまとめ、自分達の体験を分かりやすく伝えるための発表方法(ポスターを作る、実物を使う、拡大写真を使う、実演するなど)や手順を考え、工夫してポスターセッションを行った。

《発表の内容》

- 片品村全体    ○民宿    ○魚のつかみ取り、塩焼き体験    ○きのこ狩り  
○稲刈り体験    ○りんご狩り    ○片品村の野菜

# 群馬県利根郡片品村(東小川地区)

参加人数 男子42名 女子32名  
計74名

## ○特色ある活動内容

### <自然体験活動>

#### 1、ニジマスのつかみ取り、塩焼き体験

片品の冷たい清流を肌で感じながら白根魚苑で養殖したニジマスを素手でつかみ取りし、自分の手で包丁を入れさばいた。血やヌルヌル感に戸惑いながらも、えらに親指を挟んでまな板に押さえつける等のポイントを教わった。

#### 2、きのこ狩り体験

クラスで分かれ、山の斜面に沿って、1時間ほどきのこを探しながら歩いた。目が慣れてくるときのこをたくさん見つけられるようになり、夢中になって探していた。きのこが生えやすい場所や、きのこの採り方なども教わりながら活動した。

一生懸命採ったきのこを最後に食べられるものと食べられないものとに分けたが、ほとんど食べられないきのこだったことを残念に思いながらも、自然の恵みの尊さを感じていた。

#### 3、稲刈り体験

黄金の田んぼの中で初めて鎌を持ち、ざくざくと刈り取り、束ね、天日干しのために掛ける、という一連の作業をあきらことなく一生懸命やり続けた。稲刈り機の体験や、田の周辺でイナゴなどの虫取りも時間を忘れて楽しんだ。ちなみに捕まえたイナゴは宿のお母さんに佃煮にしてもらい、国語の「一つの花」を学んだ、戦争中の食糧難のころの栄養源であったことを思い出しながら試食した。

#### 4、りんご狩り体験

澄みきった青空をバックに、真っ赤に色づいた赤城をもいでその場で味わった。その後、学校で静物画にするためのモデルを選び、収穫した。学校に戻ってから、実物をよく見て絵を描いた。出来上がった作品には、心と力がこもっていて上々のできばえだった。

#### 5、牧場と馬、炭焼き釜の観察

この地区の良さを十分に味わえるようにするために、千明牧場から見える広大な山々の景色の中を歩くという活動を実施した。武尊山、白根山などを見ながらゆっくりと散策をし、馬の親子をそばで観察したり、釜を見たりした。

#### 6、野菜の収穫体験

片品村の代表的な農作物である大根を引き抜くという作業をした。大きな葉のついた太い大根が意外にも簡単にスポッと抜けて、大喜びだった。大きさや重さは宿まで持ち帰ることで十分体感できた。またとうもろこしの収穫では、十分実っているものの見分け方も覚えた。



【稲刈り体験】



## ＜学習体験活動＞

- ・各宿で、片品村について、冬の生活について、野菜を作る作業などについてのお話をうかがい、児童の質問に答えていただいた。
- ・きのこ狩り体験では、きのこ名人にきのこの種類や、毒キノコの見分け方、きのこを見つける時のポイントなどを教えていただいた。
- ・稲刈り体験では、片品村で作っている米の品種や、食べ物大切さを教えていただいた。
- ・りんご狩り体験や野菜収穫体験で、片品村で作られている特産物を教えていただいた。

## ＜生活体験活動＞

- ・初めて会った方にお世話になる体験をすることで、自分のことを自分自身でしたり、友達と協力しながら生活することを学んだり、他人に親切にしてもらう温かさを知ることができた。
- ・細かい荷物の管理、食事やお風呂でのマナー、宿での過ごし方を体験することで、セカンドスクールへの見通しを持つことができた。
- ・実際に集団での宿泊体験をすることで、友達と寝泊りし一緒に活動する楽しさを知り、セカンドスクールへの期待を持つことができた。

## ○児童の感想

- ・魚のつかみ取りでは、名人にさばき方を教わりながら切りました。その時、私は魚にも命というものがあるのに、そんなに簡単に食べてもいいのかと思いました。食べる時には、「お命いただきます。」と言って食べました。
- ・また絶対片品村に行って、やさしいお父さんとお母さんに会いたいです。そして、ふだんでは見られない自然も、もう一度見たいです。
- ・山を登っていくと、白いきのこがいっぱいある所に着きました。そこでは、家族みたいにまとまっているきのこがいっぱいあって、そこのほとんどを取りました。
- ・私達がもいだのは、「陽光」というりんごです。りんごをもいだ後洋服でこするとピッカピカになりました。何でピッカピカになるのか不思議だったので先生に聞いてみたら、りんごについているろうみtainなものがとれるからと言っていました。
- ・いねかり体験では最初のほうはうまくできなかったけど、後から速くきれいにできました。干すためにぼうにかける所は思っていたほど簡単ではありませんでしたががんばりました。
- ・みんなが取り終えて、次はニジマスのおなかを切ります。小林君のオショロコマからはイクラのようなたまごが出てきました。どうやらメスだったのでしょう。そして思わずぼくは、「ええ～！？」と目を丸くしてしまいました。
- ・ニジマスのはらわたを取りました。取るとき、「いただきます」の本当の意味が分かりました。本当は「（命を）いただきます」なんだなと思いました。食べる時、学んだことを生かして「（命を）いただきます」と言いました。食べ終わると、「（命を）ごちそうさまでした」と言ってみんなかいさんしました。
- ・お昼を食べて、部屋などをそうじして、へい校式をしました。手紙をお父さん、お母さんにわたしました。わたしはずっと片品村にいたいと思いました。へい校式が終わったら、お父さん、お母さんとさようならをしてバスに乗りました。

## ○保護者の感想

- ・ 稲刈り体験の後の時間で、イナゴをとったのが楽しかったという意見が多かったように思います。豊かな自然の中で自由に遊ぶというのも貴重な体験になると感じました。
- ・ 2泊3日の日程の中で魚のつかみ取りからきのこ狩り、野菜収穫とありましたが、生活している中で当たり前に出ていたものが、生きている魚だったり、大事に育てられた果物や野菜、お米なんだということを肌で感じられた体験は、本当に子どもたちを成長させていただけたと感謝しています。
- ・ 班の中で時計係となり、責任を感じながら向かったプレセカンドでした。いつものんびりしているので大丈夫かと心配しましたが、自分の役割を努めることができ、前より周りも見ることができるようになり、自信もついたようです。
- ・ 出かける前は不安が大きかったように見受けられましたが、日が近づくにつれ楽しみの方が増していたように思います。実施後は自然や食べ物により興味深くなりました。
- ・ セカンドスクールに向けて2泊3日のプレセカンドスクールが行われるというのはとても良いと思います。受け入れ先や適切な指導員の確保は大変だと思いますが、ぜひ続けていただきたいです。

## ○総合的な学習の時間との関連について

「出会いふれあいプレセカンドスクール」という単元設定をしているが、児童の実態から、まずは現地に行き自然の中での体験そのものを最重要視した。事前学習では、現地での生活や集団行動について学ぶことに主眼を置き、友達や指導員、宿の方たちとの現地での体験に期待が持てるようにした。事後は、学習発表会で「片品で味わった感動をおうちの方や全校の友達に伝えよう」ということで、課題別グループでポスターセッションに取り組んだ。

## ○セカンドスクールとの関連について

セカンドスクールの前段階として、短期間の宿泊を体験することを通して、セカンドスクールに対する思いを強くもつことをねらう中で、宿の方々とのふれあいを大切にする心や、進んで自然と親しもうとする心、集団生活上の基本的なマナーやルールを大切にする態度を育むことに重点を置いた。

## ○次年度に向けての反省・課題

- ・ 引率指導員の数に関して、昨年度課題のある児童を考慮した人数申請をしたが、今年度になり、課題が明確になった児童もいたため、急遽校内の引率教員を増やして活動に臨んだ。前年度のうちから、3年生の担任とよく相談し、指導員の数を余裕をもって申請するとともに、課題が明らかになった時点で、早急に指導課と連絡をとり、対応を検討していく必要がある。
- ・ 看護師は長く本校に来ていただいていた方なので、いろいろをよく分かっていてくださりポイントをしっかり押さえて的確な処置をしていただき、何よりの大きな力を発揮していただいていた。

# 第五小学校

10月17日～10月19日(2泊3日)

## ○日程表

| 10月17日(水) |             | 10月18日(木) |                 | 10月19日(金) |             |
|-----------|-------------|-----------|-----------------|-----------|-------------|
| 8:00      | 出発式         | 6:30      | 起床              | 6:30      | 起床          |
| 11:30     | 開校式         | 7:30      | 朝食              | 7:30      | 朝食          |
| 12:00     | 昼食(川場村SL広場) | 8:45      | 自然観察(虚空蔵山)      | 8:45      | 農作業体験 りんご狩り |
| 13:00     | 酪農体験(川田牧場)  | 12:00     | 昼食              | 10:45     | 木工工房見学      |
| 15:30     | 避難訓練        | 13:15     | 農作業体験(春駒圃場) 稲刈り | 12:00     | 昼食          |
| 16:45     | 入浴          | 16:45     | 入浴              | 13:00     | 閉校式         |
| 18:00     | 夕食          | 18:00     | 夕食              | 16:15     | 解散式         |
| 19:00     | 星の観察        | 19:00     | 日記書き            |           |             |
| 19:50     | 日記書き        | 21:00     | 消灯              |           |             |
| 21:00     | 消灯          |           |                 |           |             |

## ○プレセカンドスクールにおける学習の概要

### ① 事前の学習内容

群馬県利根郡川場村は5年生のセカンドスクールの実施地でもある。

事前の学習としては、前年度の4年生の「プレセカンドスクール報告会」を聞くことから始めた。そこでは、子どもたちは、各活動の報告についてメモを取りながら聞き、川場村でのおおよその活動内容を知ることとなる。そして今年度1学期に実施した5年生の「セカンドスクール報告会」では、さらに興味をもって川場村の様子を知った。

2学期になり、活動の内容をしおりを使って確認した。また、自分が中心となって調べる活動を決め、その活動に関することを図書室や図書館(私たちの川場村という社会科副読本を貸し出ししてもらう)の本から探したり、インターネットで検索したりして集めた。

班編制はクラスごとに3つずつ合計6つの活動班(部屋割り班は活動班を男女別にして)を編成した。その後、活動班の係を決めたり、班の目標を決めたりして、より行動しやすいように工夫した。

集団での宿泊が初めての子どもの多いこともあり、全体指導として、部屋での過ごし方や集団活動での学び方、宿泊を伴う際のきまりなどの大切さを指導した。また、プレセカンドスクールから帰ってきてからは、3年生と保護者に向けて発表会を実施することも伝えた。

# 群馬県利根郡川場村

参加人数 男子25名女子23名  
計48名

## ② 事後の学習内容

3日間の活動日記をもとに、一人一人、自分が中心として調べたことを国語で学習した「アップとルーズ」の視点でまとめた。その際は、活動中に自分たちで撮影した写真を使い、日記の記述を参考にしてまとめた。

その後、課題ごとにグループで集まり、各自がまとめたものを紹介し合い、自分たちの発表の計画を立て、まとめる活動に取り組んだ。子どもたちが決めた発表のしかたは、模造紙にまとめるもの、ペープサート劇、紙しばい、模擬体験などであった。班ごとに、どの写真を使うのか、どの活動を紹介するのか話し合い、役割分担をしてまとめることができた。

12月には、3年生と保護者に向けての報告会を実施し、自分たちで取り組んだ活動を分かりやすい言葉で報告することができた。3年生にとってはプレセカンドスクールの事前学習を兼ねると同時に、学校全体としてセカンドスクールの在り方を3年生から5年生までの学年を通して系統付けて指導していけるように意図している。

## ○特色ある活動内容

### <自然体験活動>

2日目の午前中の活動として『自然観察』を行った。ここでは、川場村にある「虚空蔵山」に登りながら川場村の自然についての学習を行った。当日は4名のインストラクターの方に指導をお願いした。活動班を4つに分け、1グループに1人のインストラクターがつき、「虚空蔵山」の山頂を目指した。それぞれコースが異なり、道なき道を登るグループや川に寄るグループなど様々であった。登り途中では、動植物の様子についての説明があり、自然の中での動植物の生き方について学ぶことができた。実際に多くの植物にじかに触れ、自然を身近に感じることができた。ほおの木の葉の大きさ比べを行ったり、木の実やきのこを見つけては、インストラクターに聞いたりする場面も多く見られた。また、頂上の展望台からは川場村一带を見ることができ、土地の高低やちょうど稲刈りが終わったたんぼや畑の様子を知ることができた。

### <学習体験活動>

#### 1、酪農体験(乳搾り)

1日目の午後は、「川田牧場」に行き、酪農についての学習を行った。牛舎に雑菌を持ち込まないように、子どもたちは長靴をはき、消毒をしてから活動に入った。

牛舎には約90頭の牛がいて間近に見た牛の大きさに子どもたちは驚きの表情を見せていた。乳しぼりと酪農の話聞く2班に分かれ、交代して行った。酪農の話では、搾乳後の経路について様々な施設を見て、その行方について学ぶことができた。また、乳搾り体験では、牛に触れて暖かさ、命の大切さを感じ取ることができた。活動の最後に殺菌済みの牛乳を味わい酪農見学を終えた。



【乳搾り】

## 2、星空の観察

1日目の夕食後は、ホテルSLのそばにあるふれあい橋の下まで歩いて行き、そこで秋の星空を観察した。そこでは、星座早見盤を使って、星を観察した。夏の第三三角形や秋の四辺形、カシオペア座などたくさんの星を見ることができた。東京の夜空では、観察することがなかなかできないので、星座早見盤を使って、子どもたちは、積極的に観察を行うことができた。

## 3、農作業体験(稲刈り)

2日目の午後は、「稲刈り」体験を行った。この体験は、今年の春に5年生がセカンドスクールで田植えをした稲を4年生が刈り取るというセカンドスクールと系統付けたものである。ここでは、5年生がお世話になった民宿の方々をインストラクターとしてお迎えし、指導をしていただいた。鎌の扱いは、初めは慣れない様子であったが、繰り返すうちに次第に上手に刈れるようになり、子どもたちは満足感を感じていた。また、自分たちが食べているお米がこうにして作られることや、1つ1つの作業の重要さや大変さなど、多くのことを学ぶことができた。さらに、来年度、各民宿でお世話になることを考え、体験とともに民宿の方々との交流を深めることもできた。



【稲刈り】

## 4、農作業体験(りんご狩り)

3日目の午前中には、りんご狩り体験を行った。ここでは、宮田果樹園・関果樹園の2カ所に分かれた。もぎ取るりんごは、セカンドスクールで5年生が摘果作業をしたものである。りんごのもぎ方を教えてもらい、それぞれ自分でおいしそうなりんごを選び楽しんで刈り取ることができた。りんごはその場で食し、みずみずしい味を堪能することができた。

りんごづくりの話では、川場村は果樹栽培にも適した土地であること、りんごの種類や育てるときの苦労などを伺った。

## 5、木工工房見学(みみずく工房)

みみずく工房では、木材の乾燥から製造販売までを行っている。そこでまずみみずく工房で作られた作品を見て、その後その過程を実際に見学して知ることができた。子どもたちは、木材の乾燥が大事で、とても時間がかかることに驚き、また、機械で木が切られる様子を興味深げに見ていた。川場村でたくさん見られた木々がどの様な過程を経て、生活の中で使われているのかを考えることができた。

## <生活体験活動>

初めて宿泊体験をする子どもたちが多かった。部屋での過ごし方、入浴の仕方、荷物の整理整頓、布団の上げ下ろしにいたるまで、全て自分たちで行わなければならない。生活指導員のきめ細やかな指導もたくさん見られた。ここでは協力することや、自分のことは自分で行うことの大切さを学ぶことができた。また、集合時刻に間に合うように早めに行動することも意識するようになってきた。

## ○児童の感想

- ・最初に、牛の乳をしぼりました。手の上にしぼってみると、すごくあたたかくて、でもあまりにおいしませんでした。最後に飲んだ牛乳は、普段飲んでいるものより、甘くてとてもおいしかったです。
- ・いねかりは、いねをかるのは簡単でしたが、たばにして結ぶのがむずかしかったです。農家の人からは、春や夏にいねにどんな世話をするかなど教えてもらいました。
- ・私は、虚空蔵山のハイキングで自然のすごさを知りました。1番びっくりしたのは、スギの葉で、線香になってくさるのを遅らせることができることです。木の種類で葉を燃やしたら効果が違うものがあるのかなと思いました。

## ○保護者の感想

- ・初めての宿泊で、心配もありましたが、帰って来た子どもから、「もう1泊したかった。」と言う言葉を聞き、楽しくプレセカンドを過ごすことができたことがわかりました。子どもにとってとてもよい体験ができたようです。
- ・夏休みの旅行の時よりも今回は、準備も自分から行っていました。子どもの成長を感じました。また今からセカンドスクールを楽しみにしています。

## ○総合的な学習の時間との関連について

プレセカンドスクールでは、児童は6つの活動を体験する。この活動の中から、自分が中心に追求する活動を選択して活動に臨む。プレセカンドスクールの実際の体験を通して、総合的な学習の時間で求められる「課題を設定する」「自らの課題追究をする」などの力を養うことができる。また、自分たちの活動を保護者や3年生に発信するというねらいをもち、それを行うことで、自分たちの取り組みの手応えを感じるとともに、自己の学習の奇跡を振り返り、これから目指す自分へと意識を持つことにつながる。このことは、総合の「自らの生き方を考える」基盤にもなると考える。

## ○セカンドスクールとの関連について

本校では、プレセカンドスクールとセカンドスクールの実施地が同じである。4年生で体験したことをもとに、5年生では、1人1課題を設定し、課題解決のための体験や調べ活動を行う。実際に訪れている場所であるため、見通しを持つことができ、自らの課題設定、課題追究を意欲的に行えとともに、川場に親しみをもって、セカンドスクールの活動に取り組むことができる。

## ○次年度に向けての反省・課題

今年度でプレセカンドスクールは4年目となり、活動も定着してきている。また、今年度は天候もだいたいよく、全ての活動を時間内に終えることができた。どの活動にも子どもたちは積極的にかかわり、十分な満足感を感じることができた。今後、活動については、セカンドスクールの活動との関連をさらに精査し、新たな体験活動も模索していくことが必要である。



# 大野田小学校

10月3日～10月5日(2泊3日)

## ○日程表

| 10月3日(水) |               | 10月4日(木) |               | 10月5日(金) |              |
|----------|---------------|----------|---------------|----------|--------------|
| 7:30     | 学校集合・出発式      | 6:00     | 起床・健康観察・検温    | 6:00     | 起床・健康観察      |
| 8:00     | 学校出発          | 6:30     | 朝会・体操         | 6:30     | 朝会・体操        |
|          | 首都高速(湾岸線)     | 7:00     | 朝食・活動の準備      | 7:00     | 朝食・荷物整理      |
| 9:45     | アクアライン川崎      | 8:40     | 沖ノ島へ出発        |          | 部屋整理         |
| 10:00    | 海ほたる見学(トイレ休憩) |          | 島めぐり ビーチコーミング | 9:00     | ホテル出発        |
|          | 東京湾見学         |          | 洞窟探検          | 9:20     | 安房博物館着 見学    |
| 10:30    | 海ほたる発         |          |               | 10:50    | 安房博物館発       |
| 12:15    | 館山市立博物館着      | 12:15    | 宿舎に戻る         | 11:00    | 昼食(ホテル)      |
|          | (博物館見学・昼食)    | 12:30    | 昼食            | 11:40    | 閉校式          |
| 13:30    | 夕日海岸ホテル着      | 13:30    | 海の生き物の話       | 12:15    | 館山出発         |
| 13:40    | 開校式           |          | 貝の標本作り        | 14:15    | 海ほたる着(トイレ休憩) |
|          | 荷物整理・避難訓練     |          |               | 17:00    | 学校着・解散式      |
| 14:00    | 房州うちわ作り(始)    | 15:40    | 入浴            |          |              |
| 16:30    | 房州うちわ作り(終)    |          |               |          |              |
| 18:00    | 夕食            | 18:00    | 夕食            |          |              |
| 19:00    | 入浴            |          | 荷物整理          |          |              |
| 20:00    | 1日の反省・荷物整理    | 19:30    | 星の話・海ホテル観察    |          |              |
|          | 班長会           | 20:30    | 1日の反省班長会      |          |              |
|          | 就寝準備・健康観察     |          | 就寝準備・健康観察     |          |              |
| 21:00    | 消灯            | 21:00    | 消灯            |          |              |

## ○プレセカンドスクールにおける学習の概要

### ①事前の学習内容

- ・プレセカンドスクールのめあてについて
- ・千葉県館山市のようすについて
  - 千葉県や館山市の位置や土地のようす、特産物や産業
  - 沖ノ島の土地のようす、自然のようす(植物・生き物など・夏の星座)
  - 館山市立博物館について(館山城・里見八犬伝について)
- ・房州うちわについて(うちわの絵の作成)
- ・環境学習(自然保護・ごみ問題・ごみの分別等)
- ・東京湾の特色(アクアラインについて)
- ・夏休みの研究(プレセカンドスクールに向けての自分の課題、房州うちわのデザイン)
- ・集団行動のルール・集団生活のマナーについて
- ・保健指導(体の成長の変化について)

### ②事後の学習内容

- ・2泊3日の体験や課題学習について振り返り、作文や新聞などにまとめる。
- ・沖ノ島で拾ってきた貝やビーチグラス等を使って、ミニ黒板を作成。
- ・3学期(3月に予定)、3年生に対してプレセカンドスクールについての学習発表会を行う。

# 千葉県館山市

参加人数 男子63名 女子40名  
計103名

## ○特色ある活動内容

### <自然体験活動>

本年度は3日間とも晴天に恵まれ、すべての予定を順調にこなすことが出来た。特に2日目の沖ノ島でのビーチコーミングは地元のインストラクターの方の指導のもと、児童は有意義な活動を行った。

児童が次々と持ってくる海草や貝殻の名前を、インストラクターの方が丁寧に教えてくれた。タイドプールにいるカニやヤドカリ、砂浜に無数にある貝殻を夢中になって探し出していた。中でも、タカラ貝は人気があり、見つかるたびに歓声を上げていた。こうした体験は、都会では味わえない、子どもたちの好奇心を触発させ、探究心を培うものであり、意義ある体験活動と考える。ここで拾った貝は帰校後、展覧会の日に行われた授業参観において「ミニ黒板作り」の装飾として一役買った。この授業は親子参加型授業で保護者とともに熱心に取り組み、思い出に残るすばらしい作品をたくさん作ることができた。

また、ビーチコーミングの合間に見学した戦時中砲台となったという岸壁や真っ暗な洞窟は、大変興味深く観察し、児童それぞれに当時の戦争についての感想をもった。

ビーチコーミング後は、予定どおり砂浜のごみ拾い活動を行った。短時間ではあったが、様々な種類のゴミが集まり、海辺の掃除のボランティアとして貢献した。

午後、ホテルに戻り、昼食後に、海辺のインストラクター（海辺の鑑定団）による、海の生き物の話と貝殻の標本作りを実施した。児童は、イルカや鯨の骨の実物などを間近に見て興味津々の様子であった。また、貝殻の標本作りは、説明がとても分かりやすく、どの子もすばらしい標本を作り、その活動を通して、貝の名前をすぐに覚えてしまう児童が多かった。そうした説明の中で、人間の活動と海との関係にも触れ、環境教育の一環としても意味のある内容であった。海の生物に関心を深めるには、大変有意義な活動であったと思われる。また、この活動をビーチコーミングの前に行うことも学習効果を高めるひとつの方法ではないかとも考える。次年度の課題である。



【ビーチコーミングを行った沖ノ島】

### <学習体験活動>

本市のプレセカンド・セカンドスクールにおいては、事前に明確な個々の課題を児童が持ち、調べ学習やミニ発表会を行った後、実際に現地での体験を通して課題をさらに深めていくという一連の流れが基本的な考え方である。

したがって、本学習活動のオリエンテーションにおいては、十分に事前指導を行い、子どもたちが興味をもった課題をつかませ、予備知識を身につけさせてから実際の体験活動に臨ませた。以下にいくつか児童に対して行った教師の具体的な指導・および児童の活動例を挙げる。

- ・アクアラインについては、海底トンネルと海上の自動車道の違いを目で見て比較し、また資料館「海めがね」では、トンネル内の換気の工夫やシールドマシンについて模型などで確かめることができ、机上の学習をさらに深めることができた。
- ・館山市立博物館（分館である館山城）では、「南総里見八犬伝」などの参考資料を詳細に調べた児童がおり、現地でのたくさんの資料を見学し、具体的に学習を深めることができた。また館山城の上から市内を一望し地形や市内の様子を知ることができたことは今後の社会科における地理の発展として期待される。
- ・房州うちわ作りは予定どおり1日目に現地のうちわ職人の方に指導していただいた。児童があらかじめ学校で仕上げてきた表裏2枚の絵を使って作成し、一人ひとりが自分のうちわを



【伝統的な工芸品「房州うちわ」の製作に取り組む】

自分の手で仕上げる事ができた。竹に糊を塗り竹の骨の間隔を調節する。竹の骨に絵を貼る。余った竹を切る。乾いたら縁に細い薄紙を貼って仕上げる。全 24 工程のうちの 4 工程だけであったが、なかなか難しく、手作りの大変さや伝統工芸のすばらしさを学ぶことができた。また、房州うちわの歴史や工程等については、待っている時間を有効に利用してビデオで学習することができ、理解を深めることができた。なお、うちわのデザインについては夏休みの課題として児童に与えたものである。

- ・海ホテルを課題に研究していた子も多く、海ホテルの観賞会はとても貴重な体験となった。ホテルの広間を暗くし、上から吊るした薄いパネル水槽に弱い電流を流すと、おびただしい数の海ホテルが一斉に美しい青色で発光し、子どもたちはその神秘的な光景に歓声をあげ、とても感動していた。
- ・星座観察も予定どおりホテル向かい側の浜辺にて観察ができた。天気は良好であったが、まわりの照明が明るすぎて十分な観察とまではいかなかったが、夏の大三角や木星などを自分たちの目で確認することができた。この学習は 3 学期に行われる冬の星座にも関連するものであり、意味のある学習となったと考える。
- ・安房博物館は、資料が豊富で、展示の仕方も工夫されていて、魚や漁業について課題追究を深めるためには、大変良い学習の場となった。また、どの児童にとっても、昔からの様々な漁法についての詳しい資料は分かりやすく、大変参考となった。また、隣接の水族館では、館山の海に生息する生物や様々な標本を見ることができ、解説員の方の説明も分かりやすく、ここでも意欲的に観察できた。ただ、楽しみにしていた「さかな君博覧会」は 9 月の末までの開催であったため、見学することができなかったのは残念であった。さかな君は館山の出身で前日もひょっこりと顔を出したとのこと、児童も残念がっていた。

## ○ 児童の感想



【ホテルの窓から見えた夕日】

- ・館山城の 1 番上に上がったら、下のほうにこれから 3 日間泊まる夕日海岸ホテルや見学することになっている安房博物館が見えました。天気がよくて全体がとてもよく見えました。
- ・1 日目でいちばん楽しかったのは房州うちわ作りです。貼り、切り、へり、見学、ビデオ鑑賞などいろいろな体験ができて楽しかったです。できあがった時は嬉しく、「世界でひとつだけのうちわができたんだな」と思いました。千葉のうちわは日本三大うちわのひとつだそうです。
- ・夕日海岸ホテルから見た夕日は最高でした。何気なく部屋の窓から外を見ると、ちょうど夕日が沈むところでした。思わず声を出したら友達も寄ってきて

みんなでしばらく見とれていました。天気がよくなくては見ることができないと思うと、ラッキーだったんだなと思いました。

- ・ビーチコーミングでは、いろいろな貝を拾いました。地元の鑑定団の人がタカラ貝が貴重だと言っていたので一生懸命探しました。友達はいくつも拾っていましたが、僕はなかなか見つけられませんでした。でも、帰る頃になってやっとひとつ見つけることができて嬉しかったです。
- ・2 日目の午後は貝の標本作りでした。まず、貝を木工用ボンドで板に付けて、そしてその貝の名前をシールに書いて貝のそばに張って出来上がりです。きれいに貝を並べて貼ることができたので嬉しかったです。
- ・2 日目の夜は、ホテルの向かい側の浜辺で星の観察をしました。ちょうど、夏の大三角が頭の上に見えているのがわかりました。まわりが明るくて 3 等星ぐらいまでしか見られませんでした。だんだん目が慣れてくると何となく天の川が見えるような気がしました。海の音も聞こえて気分は最高でした。
- ・ホテルの人がウミホテルを見せてくれました。電気を流すとウミホテルはパッと青く光ってとても不思議な感じでした。ウミホテルは昆虫ではなくミジンコの仲間だそうです。びっくりしたり逃げたりするときに、青い液体を出すそうです。あんなにきれいだとは思いませんでした。
- ・わたしは、海ホテルはなんで光るのかと不思議に思っていました。でも説明を聞いてよくわかりました。暗闇にすると青い線のように光るのが感動でした。わたしはウミホテルをさわっ

てみました。へんな感触がしました。戦争中にこの光が利用されたと聞きました。悲しい気持ちでしたが、ウミホタルはすごいと思いました。

- ・3日目は安房博物館に行きました。ここでは海の生き物、昔の人の暮らし、海ホテルといろいろなことを勉強しました。「さかな君」がときどき来ると聞いていたので今日、来ないかな、と期待していましたが、昨日来たと聞き、がっかりしました。
- ・私がいちばんびっくりしたのは水族館の海がめです。海がめはかわいいようなこわいような・・・、すごく暴れていました。でも、見ていて楽しかったです。



【ビーチクラフトを製作中】

## ○保護者の感想

- ・行く前は子どもも親も不安がいっぱいでしたが、元気に帰ってきた姿を見て安心しました。3日間天気に恵まれてとても楽しかったようです。有意義な時間を過ごせたようでほっとしています。
- ・何といってもビーチコーミングが楽しかったようでおみやげにたくさんのきれいな貝をもらいました。それを見せながら、向こうでの楽しかった話をいっぱいしてくれました。何だか、ひとまわり大きくなったような気がします。
- ・2泊の宿泊が心配でしたが、仲よくみんなと過ごせたようで安心しました。いつもは家ではわがままばかり言っている子なんです、集団行動がちゃんとできたようでほっとしています。
- ・夏休みの自由研究で里見八犬伝に興味をもち資料をいろいろ取りよせて調べていました。帰ってから一層興味をもったようで本を何冊も呼んでいました。漫画ばかりしか読まない子だったのにたいした成長です。単なる旅行ではなく、学習としての「プレセカンドスクール」になったと思います。
- ・1番印象に残ったのは、海ホテルだと言っていました。とてもきれいに青く光るから、お母さんもぜったい見に行ったほうがいいよ、と言っていました。東京では見られないものを見たり、普段できない体験をたくさんしたり、とてもうれしかったようです。
- ・向こうで作った房州うちわやビーチクラフトをなかなか持って返ってこないのどうしたのかと思っていたら、両方とも展覧会で飾るということを聞き、とても楽しみにしていました。当日は会場の入り口に飾られているところを見ることができて感動しました。みんな上手でしたね。

## ○総合的な学習の時間との関連について

- ・事前の学習としては、1学期に館山に自然や文化について調査し、それぞれが自らの課題を決めた。
- ・里見八犬伝・館山城・アクアライン等については、事前に学習して臨んだ。
- ・夏休みの課題として房州うちのデザイン（下絵）を考えさせた。
- ・プレセカンド後に作文や新聞等にまとめ、その後ホテルや海辺の鑑定団の方にお礼の手紙を書いた。
- ・ビーチコーミングで採集した貝がらなどを使って授業参観時に親子でミニ黒板作りを行った。
- ・3学期に『3年生に伝えよう』として、プレセカンドスクールの発表会を行う予定である。

## ○セカンドスクールとの関連について

- ・今回の自らの課題について下調べをし、現地で調査し、帰校後まとめるという一連の学習は、5年生で行われるセカンドスクールでも十分にいかされることと考える。
- ・初めての集団での宿泊体験は、子どもたちの自信と来年のセカンドスクールにつながるものと考ええる。

## ○次年度に向けての反省・課題

- ・星空の観察は周囲の明かりが障害となり十分な観察・指導が難しい。
- ・雨天時プログラムを柔軟に実施するための予算措置を依頼していく。
- ・よりアクティブかつ現地の特色を生かした活動を模索したい。可能であれば来年度はホテルの近くにある魚市場の見学、地引網体験などを計画したい。

# 境南小学校

10月17日～10月19日(2泊3日)

## ○日程表

| 10月17日(水) |               | 10月18日(木) |             | 10月19日(金) |                   |
|-----------|---------------|-----------|-------------|-----------|-------------------|
| 6:00      |               | 6:00      | 起床、洗面       | 6:00      | 起床、洗面             |
| 7:45      | 学校集合          |           | 清掃活動        |           | 身の回り整理            |
| 8:15      | 学校出発          | 7:00      | ふれあいタイム     | 7:00      | 清掃活動              |
| 9:30      | 談合坂 SA《トイレ休憩》 | 7:30      | 朝食          | 7:30      | 朝食                |
| 11:00     | マスつり・ワサビ田見学   | 9:00      | 野鳥プロジェクト    | 8:30      | 荷物整理、点検           |
| 12:00     | 養鱒場にて昼食       |           | 遊歩道散策       | 9:30      | 退所式               |
| 13:00     | 陣馬の滝散策        |           | (2グループ・交互に) | 10:00     | 酪農体験              |
| 13:30     | 養鱒場出発         | 11:00     | バードコール作り    |           | [松下牧場にて]          |
| 14:00     | 宿舍到着入所式       | 12:00     | 昼食(お弁当)     | 12:00     | 昼食(パンとバターとおにぎり弁当) |
| 14:30     | 館内入室・避難訓練     | 13:00     | ハイキング       | 13:30     | 松下牧場出発            |
| 15:00     | 凧あげ大会         | 16:00     | 身の回りの整理     | 15:30     | 談合坂 SA            |
|           | [朝霧アリーナにて]    | 16:15     | 課題解決学習      |           | 《トイレ休憩》           |
| 17:00     | ふれあいタイム       | 17:00     | ふれあいタイム     | 16:45     | 学校到着、解散           |
| 17:30     | 係打ち合わせ        | 17:30     | 係打ち合わせ      |           |                   |
| 18:00     | 夕食            | 18:00     | 夕食          |           |                   |
| 19:00     | プラネタリウム       | 19:00     | 課題解決学習      |           |                   |
| 20:00     | 検温、入浴         | 20:00     | 検温、入浴       |           |                   |
| 21:00     | 就寝準備、健康観察     | 21:00     | 就寝準備、健康観察   |           |                   |
| 21:30     | 就寝、消灯         | 21:30     | 就寝、消灯       |           |                   |

## ○プレセカンドスクールにおける学習の概要

### ① 事前の学習内容

- ・総合的な学習の時間に、一人一人が調べてみたい課題を設定した。主な課題としては、「富士山」「ワサビ作り」「高山植物」「マス」「酪農の仕事」「牛の特徴」「星や星座」「朝霧高原にいる鳥」などがあった。その後、プレセカンドスクールの実施をはさんで、課題解決に取り組んだ。
- ・事前に、プレセカンドスクールのめあてについて、また、集団で行う宿泊行事に関するルールやエチケット、心がまえ等を指導した。
- ・図画工作科の時間に、プレセカンドスクールであげるといふ目的で凧を作った。広い芝生で凧揚げをするのを楽しみに、子どもたちは大変意欲的に取り組んでいた。また、現地で行う野鳥プロジェクトで野鳥観察時に使うバードコールを、完成手前まで授業で作っておいた。



## ② 事前の学習内容

- ・総合的な学習の時間に、活動テーマとして「ふれ合い・体験・自然と友と in 朝霧」を設定し、事前に取り組んだ学習課題について、現地に行って分かったこと、感じたこと、もう一度調べ直してみたいことを中心に、引き続き調べた。発表会を行うことを目的に、実施前から調べていたことと併せて自分の伝えたいことに焦点をしばって、グループごとに話し合ってまとめた。図に表したり、大事なことを大きく書き表したり、グループで発表の練習をして聞き合い、お互いにアドバイスし合うなど、伝えたいことがはっきりとわかるように発表する工夫をした。12月6日には、来年度プレセカンドスクールに行く3年生を招待して、課題発表会を行った。
- ・展覧会では、展示用に手直しや修理した凧と、現地で色付けしたバードコールを出展し、他の学年や保護者、地域にプレセカンドスクールの活動の一端を発信した。

## ○特色ある活動内容

### <自然体験活動>

#### 1、マスつり体験

富士山の湧き水を活かして行われている養鱒場で、マスつり体験を行った。自分で釣り針に餌をつけ、釣れた魚を針から外すという体験が初めてという子どもが多く、苦勞していた。簡単には釣れずにじっと待つ子どももいたが、最終的には全員が釣り上げることができた。その場で自分たちで炭で焼き、お弁当と共に食べた。マスの身を食べた後、骨までしっかり焼き直して、「命をいただく」という気持ちで、むだなく食べる子どもも多かった。「自分でつったマスはおいしい」と普段は魚をあまり食べない子もおいしそうに食べていた。

#### 2、凧揚げ大会

宿舎の横の電線一つない広い朝霧アリーナで、走り回っての凧揚げとなった。持っていった凧は、事前に図画工作科の学習で一人一人が作った凧である。凧の足を昨年度から変えたことで、空高く上げられた子どもは少なかったが、自然の中で思い切り走り回りながらの凧揚げは、自然を楽しむ良い時間になった。

#### 3、野鳥プロジェクト

全体を2グループに分けて活動した。一つは日本野鳥の会の方を講師に、野鳥を見つける視点や野鳥の種類・習性、野鳥が食べる植物や実などを教えていただくグループである。もう一つは、実際に双眼鏡とバードコールを持って、宿舎周辺の遊歩道を野鳥観察に出かけるグループである。木々の間から野鳥のさえずりが聞こえ、その声の主を見つけようと目を嚙らしていた。残念ながら、季節、時刻の関係で野鳥の数が少なく、見付けることができなかった子どももいた。しかし、今回教えていただいたことを基に、「東京でも野鳥を見付けたい。」という関心・意欲が高まった。



## 4、ハイキング

宿舎の遊歩道からお世話になる松下牧場を抜け、広大な牧草地をグループ毎に、ゆったりと歩いた。途中でスケッチをしたり、俳句を詠んだり、大自然の中で感じたことを表現しながらのハイキングであった。虫探しに夢中になったり、珍しい植物を見つけて観察したり、自然と親しみ、また自然を満喫するとてもよい時間となった。

## <学習体験活動>

### 1、ワサビ田見学

マス釣り場の隣にあるワサビ田を見学しながら、ワサビ作りについてお話を伺った。富士山の雪解け水がきれいで冷たいこと、ワサビはきれいな水がなければ栽培できないことを知った。また、実際にワサビ田からワサビを抜いて、葉をかじらせてもらったり、ワサビを摺り下ろしてなめさせてもらったりした。本物のワサビの味は、子どもたちにとって新鮮な驚きだった。

### 2、プラネタリウム

秋の星空をプラネタリウムで学習した。1学期に星の学習はしているが、星の実際の動きを見たり、星座の話を知ったりして、星に対する興味を一層持たせることができた。また、富士の四季折々の映像も見て、雄大な富士の自然を学んだ。

### 3、バードコール作り

バードコールは、学校で途中まで作成し、現地で色塗りをを行い完成させた。野鳥プロジェクトの遊歩道散策時に、音を鳴らして野鳥の呼び寄せを試みた。また、11月に実施した展覧会に、凧とともに出展した。

## 4、酪農体験

松下牧場では、牛の感染病予防のために靴の上にビニール袋をはいて体験を行った。このことから、衛生面に十分注意しているのが子どもたちに伝わった。

初めに松下牧場の方から、「牛乳をとるのはホルスタインという種類」「乳牛の一生」などの説明や、体験する際の注意があった。その後、乳搾りをするグループと牛舎でブラシかけなどをするグループ、2つに分けて活動を行った。初めて間近で見る牛に恐怖を感じる子どももいたが、周りの友達の声かけによって、体験を進めることができた。実際にブラッシングや掃除、えさやり、乳絞りを体験することにより自然に牛に触れることができ、牛の世話の大変さ、牛の温かさを感じることができた。昼食時には、この牧場で絞られた牛乳を使い、バター作りに挑戦した。できたバターをパンに塗って食べることで実際に自分たちの食生活とも深くつながっていることも感じた。



【酪農体験】

最後には、牧場の方から、牛の一生について教わり、命の大切さを改めて考えることができた。また、酪農体験をした直後だけに、熱心に話を聞く姿がそこにあった。

## ○児童の感想

- ・最初に牛舎に入った時は、においが気になりました。でも、牛にえさをやったらいっぱい食べてくれました。うれしくなって、何回もスコップでえさやりをしました。牛舎から出るころには、においが気にならなくなりました。
- ・冷たい手で牛をさわったら、温かくてびっくりしました。何度もさわっているうちに、手も心も温かくなりました。
- ・広い牧草地が広がっていました。あんなに大きな富士山を見たのは初めてです。ハイキング中には、俳句作りにも挑戦しました。
- ・マスが針にかかった時の手ごたえにはびっくりしました。水から上げようとするとうまくあばれるし重くてあわててしまいました。近くの生活指導員の先生や友達が「さおをたてるんだよ。」と言ってくれました。ようやくつりあげたマスの味は、東京で食べたものよりおいしかったです。

## ○保護者の感想

12月に行った本校の保護者へのアンケートの中にプレセカンドスクールの効果についての質問があった。5段階評定で4.44ポイントの有効性が保護者から寄せられた。(回答数52.38%) また、児童が帰宅後「プレセカンドスクールは楽しかった。セカンドスクールが楽しみだ。」と話しているという報告が数多くあった。

## ○総合的な学習との時間との関連について

1学期に『給食から見える世界』の単元を学習し、食の大切さについて学んだ。マスつり体験や酪農体験の中に食べる活動を入れたことで、「命をいただく」という食育の根幹を実感できた。また、自分で課題を設定し、調べ学習を進め、伝えたいことを選び、それを中心にしてまとめ、発表の仕方を工夫するという学習をした。課題追究学習の基礎を学ぶ機会になった。

## ○セカンドスクールとの関連について

集団生活を行う上で、全員が楽しく気持ちよく過ごすために大切なことは何かを十分に考えさせ、事前指導からそのことを意識させて取り組んだ。クラスを超えて班を作り、多くの友達と協力して生活できるように事前の活動に取り組んだことにより、所属意識が高まった。

一人一人がそれぞれ課題を追究する課題解決学習に取り組んだ。セカンドスクールで行う、フィールドワーク等実体験を通した課題解決学習のよい練習になった。

## ○次年度に向けての反省・課題

- ・武蔵野では体験できない自然をたっぷり満喫し、充実した集団生活を送ることができた。一方、現在の計画では夕食から就寝まで活動に余裕があまりないことから、夕食以降の活動を再考していきたい。
- ・講師との事前連絡の結果、活動内容に一部変更が生じた。連絡方法として手紙、電話、FAXがあるが、PCの導入も検討していきたい。

# 本宿小学校

10月17日～10月19日(2泊3日)

## ○日程表

| 10月17日(水) |                                                            | 10月18日(木) |                                                | 10月19日(金) |                      |
|-----------|------------------------------------------------------------|-----------|------------------------------------------------|-----------|----------------------|
| 7:30      | 学校集合                                                       | 6:30      | 起床・検温・洗面                                       | 6:30      | 起床・検温・洗面             |
| 8:00      | 出発(五日市街道より)<br>・練馬IC(関越自動車道)<br>・上里SA(トイレ休憩)<br>(上信越自動車道へ) | 7:00      | 清掃・朝食準備<br>朝食                                  | 7:00      | 清掃・朝食準備<br>朝食        |
| 11:00     | 豊田飯山IC<br>信濃平駐車場着                                          | 9:00      | 泉台小学校との交流<br>・交流会(学校紹介、ドッジボール<br>大会、グルーブプレクなど) | 8:00      | 清掃・荷物整理              |
| 12:00     | 開校式 昼食                                                     | 11:00     | ・稲刈り体験                                         | 9:00      | 閉校式(鈴荘)              |
| 13:00     | 地域めぐり                                                      | 12:00     | 昼食                                             | 9:15      | 信濃平出発                |
| 14:00     | ウォークラリー                                                    | 13:00     | ・脱穀体験                                          | 9:30      | リンゴ園着                |
| 16:00     | 本部ゴール                                                      | 14:00     | 泉台小4年生下校                                       |           | リンゴ園体験(塩崎農園)         |
| 16:20     | プレセカンドでの過ごし方について                                           | 15:00     | 干し柿作り                                          |           | 昼食                   |
| 17:30     | 夕食準備                                                       | 17:30     | 夕食準備                                           | 12:00     | リンゴ園出発               |
| 18:00     | 夕食                                                         | 18:00     | 夕食                                             |           | 豊田飯山IC<br>(上信越自動車道へ) |
| 20:00     | 学習の記録 健康観察・入浴                                              | 19:00     | 民宿の方との交流会                                      | 14:00     | 高坂SA(トイレ休憩)          |
| 21:00     | 明日の準備 就寝・消灯                                                | 20:30     | 学習の記録 健康観察・入浴                                  | 16:00     | 五日市街道到着              |
|           |                                                            | 21:30     | 明日の準備 就寝・消灯                                    | 16:30     | 学校解散                 |

## ○プレセカンドスクールにおける学習の概要

### ① 事前の学習内容

- ・飯山市の場所・地域の特徴・特産物(稲作・りんごなど)について理解する。
- ・プレセカンドスクールのめあてについて理解する。
- ・集団行動のルールや集団生活のマナーについて理解する。
- ・泉台小学校の4年生への自己紹介カードを作り交換する。(パソコン、デジカメの活用)
- ・交流会に向けた歌や合奏の練習、準備。
- ・行動班ごとのめあてづくりや生活班での役割分担をする。
- ・一人一役の役割分担・自分の係の準備。
- ・干し柿作りに向けた包丁の使い方、皮のむき方などを、栄養士の先生から指導してもらい、その後家庭で練習した。

# 長野県飯山市(信濃平地区)

参加人数 男子18名 女子23名  
計41名

## ② 事後の学習内容

- ・ 2泊3日の飯山での生活を振り返り、感想を作文や俳句にまとめた。
- ・ 総合的な学習の時間でプレセカンドスクールのまとめとして、稲刈り体験や干し柿作りの活動の様子や飯山の自然や環境、交流会の様子や民宿での生活の様子などについて、3年生に伝えることを目的にまとめ、発表した。
- ・ 道德の時間と関連させてお世話になった民宿の方へ、感謝の気持ちを伝えるビデオレターを作った。
- ・ 国語と総合的な学習の時間とを関連させ、交流をした泉台小学校の友達へ、自分たちの今の様子や本宿小学校の紹介をするビデオレターを作った。

## ○特色ある活動内容

### <自然体験活動>

#### 1、ウォークラリー

各班ごとに信濃平の地図を持ち、チェックポイントを通過しながら信濃平を散策した。信濃平の田んぼの中のあぜ道や、自分たちがお世話になる民宿や地域の神社などを回り、最後に現地のわき水を飲めるというコースを設定した。

地域の方に話しかけたり、栗や柿、稲穂を拾ったり、草花をつんだりしながら、都会とは違う飯山の自然を体感することができ、子どもたちにとっては、大変楽しく、また意義のある活動となった。神社におまいりしたり、米の貯蔵施設を見つけたりと自分たちでの発見もあった。また、ウォークラリーの前に地域めぐりで地域の特色ある家のづくりなどを学んだので、歩きながら自分たちの生活している地域とは違う生活の様子にも目を向けることができた。途中、コースを間違えた班もあったが、自分たちで地域の人に道を聞いたり地図を見たりしながら、どの班も協力して無事にゴールすることができた。



【信濃平のあぜ道を】

### <学習体験活動>

#### 1、地域めぐり

飯山市信濃平の、民宿周辺を自分たちの課題を持って歩きながら、校長先生から地域の特色ある生活の様子について説明していただいた。雪の多い地域であることが分かるアンテナや屋根のづくり、雪かきで集めた雪を捨てる場所などを発見することで飯山の地域の特徴や自分たちの住む地域との違いに目を向け、その後のウォークラリーでの発見につながられた。

## 2、泉台小学校との交流会



【交流会で】

毎年セカンドスクールでも交流している泉台小学校の4年生と交流会を行った。歌や合奏を交えた学校紹介をした後、子どもたちが一番楽しみにしていたドッジボールの交流戦を行った。

子どもたちはこのドッジボールをとても楽しみにしており、盛り上がった試合となった。残念ながら負けてしまったが、来年こそは勝ちたいという思いも、次年度への交流の意欲へつながっているようである。その後、各班ごとに分かれて、グループでのレクレーションを行った。いっしょに遊び、活動することで、打ち解けることができ、交流会の中でも有意義な時間と考えられる。

## 3、稲刈り体験、脱穀体験

5年生がセカンドスクールで6月に田植えをした稲を刈り取る作業を、泉台小の4年生といっしょに行った。民宿の方の説明を熱心に聞き、初めて使う鎌の使い方に気をつけ、刈った稲を束ねることに苦労しながらも、稲を刈り進め束にしていった。稲刈りの難しさや大変さ、いっしょに活動することの楽しさなどを体験し、子どもたちにとって心に残る活動となった。昼食は、稲刈りをした田んぼのあぜ道で、泉台小の子どもたちといっしょに食べた。その後、千歯こきや足踏み脱穀機など、昔の農作業に使われた道具を使わせてもらいながら脱穀体験を行った。コンバインで稲を刈り取る様子も見せていただき、お米を作ることの大変さや作っている人たちの工夫や努力などを学ぶことができた。お米を大切に食べようという思いを感想に綴った子どももいた。



【稲を結ぶのは難しいね】

## 4、リンゴ園体験

リンゴ園で、玉回しや葉摘みの作業を行ったり、作業に使われているトラクターなどを見せてもらった。リンゴ作りの工夫や大変さを知ることができた。また、いろいろな種類のリンゴを味見させてもらい、種類や味の違いに気づき、家に帰ってから興味を持って買い物をした子どももいた。

### <生活体験活動>

#### 1、干し柿作り

甘柿を民宿の方といっしょにとりに行き、食べた。その後、民宿のお母さんに教えてもらいながら、渋柿で干し柿作りを行った。事前に学校や家庭で果物の皮むきの練習をしてきたので、どの子も注意深く包丁を扱い、丁寧に皮を向いて紐で結び干すことができた。

## ○ 児童の感想

- ・一番心に残ったのは稲刈りです。わたしはホントに何も知らない初心者なのでとてもドキド

キしました。鎌で切るのは結構簡単です。でも、下のほうで結ぶのが手先を使うので目も疲れてしまいました。でも、とても楽しい思い出となったと思います。

- ・お米は大変な努力をしないと、僕たちは食べられないということが分かりました。やっぱり民宿に帰ってお米を食べたら、とってもおいしかったです。ぼくはお米を残さず食べるようにしたいです。
- ・泉台小の人はやっぱりドッジボールが強かったです。でも、投げるのが強いんじゃなくて取るのが上手いから強いんだと思いました。なんでこんな取るのが上手いのかふしぎです。

## ○保護者の感想

- ・民宿での生活で、普段親がしてしまうことを自分でやらなければならない経験は、本人にとって苦痛ではなく、少し成長した気分にさせてくれるものだと思います。
- ・子どもにとっては普段味わえない大自然の中での様々な体験が一生の宝物になったようです。とても、貴重な2泊3日でした。
- ・果物の皮むきはそろそろ始めさせなければと思っていたのでよいきっかけになりました。

## ○総合的な学習の時間との関連について

事前の学習では飯山という場所に期待を持たせるとともに、行動班や生活班を決めたり、一人一役の役割を分担することで、自分の役割に責任を持って行動できるよう意欲を持たせた。また、交流会を持つ泉台小の4年生に事前に自己紹介カードを送ることで、次年度にも続く交流への意欲を高めることができた。

事後の学習では3年生プレセカンドスクールについて伝えることを目的に、体験してきたことを分かりやすくまとめ、発表する活動を行った。また、泉台小学校へもお礼のビデオレターを送り、次年度へのつながりを意識させた。

## ○セカンドスクールとの関連について

5年生のセカンドスクールに向けての準備として、飯山という地域に慣れることや集団での生活の仕方を学ぶことができた。また、5年生になった時には、同じ場所の季節の違いを感じることもしる。飯山の自然の豊かさを体感したこと、民宿の方や泉台小学校との交流を通して飯山とのつながりを感じられたことで、意欲を持たせることができた。

## ○次年度に向けての反省・課題

泉台小学校との交流会では、ドッジボールやグループレクリエーションなど子ども同士が関わりあえる時間を十分に取りたい。学校紹介などの交流もいいが、子どもにとっては直接関わりあえる時間を大切にしたい。また、2日目のプログラムが盛りだくさんだった。子どもたちの体力面を考えても、もう少しゆっくりと飯山の自然の中で子どもたちが過ごせる予定を工夫していきたい。



# 千川小学校

10月10日～12日(2泊3日)

## ○日程表

| 10月10日(水) |                                  | 10月11日(木) |               | 10月12日(金) |                                      |
|-----------|----------------------------------|-----------|---------------|-----------|--------------------------------------|
| 7:40      | 学校出発                             | 8:30      | 各民宿出発         | 8:30      | 各民宿出発                                |
| 10:00     | こんにやく工場見学<br>シクラメン栽培ハウス<br>雑貨屋見学 | 9:15      | 三頭山登山口集合・出発   | 9:00      | フォレストイングコテージ着<br>森を守る講話を聞く<br>林業体験学習 |
| 13:00     | 昼食・水生昆虫観察                        | 12:30     | 見晴台着・昼食       |           | 昼食                                   |
| 16:00     | 民宿着<br>民宿の人への質問                  | 14:00     | 木工教室・森林館見学    | 12:30     | バス内で感想交流                             |
| 19:00     | 学習の記録                            | 15:30     | 都民の森発・小河内ダム見学 |           | 学校着・解散                               |
|           |                                  | 19:00     | 学習の記録         | 16:00     |                                      |

## ○プレセカンドスクールにおける学習の概要

### ① 事前の学習内容

○プレセカンドスクールでは何を学習するか、子どもに分かることばでねらいを設定し、各自の目標をもたせた。

- ・山地でのくらしを学ぶ。
- ・協力して、交友関係を深める。
- ・生活のきまりを守る。(あいさつ、時間、マナー)

○写真等の資料から気付いたことや疑問点をもとに学習課題を立てて、社会科を中心に学習を進めた。自分たちがこれから訪れる場所であるということが、児童の学習意欲を喚起し、積極的に調べる姿が見られた。

○社会科の学習内容以外の、檜原村の自然等については総合的な学習の時間を活用して学習した。内容によって扱いを分けたことが、教科の内容の理解の確実な定着につながった。

○集団宿泊行事を進める学習

- ・活動班や生活班での役割分担をし、班内で分担した役割の準備活動を進めた。
- ・民宿で生活する際のマナーについて話し合い、実行に向けて取り組んだ。
- ・全員から集計した集団生活に対する意識調査のアンケート結果をもとに、友達といっしょに生活することの意味と、心配りをしあわなくてはならないことについて話し合い、各自が目標をもって臨めるようにした。

○指導員との顔合わせ

- ・指導員は子どもたちにとっては先生であること、困ったときや相談したいときにはどの方へ声をかければよいか、具体的な場面を想定して理解できるようにした。

### ② 事後の学習内容

「プレセカンドスクール報告会」

- ・第3学年の児童及び保護者に対して「プレセカンドスクール報告会」を行い、活動班毎に発表した。

# 東京都西多摩郡檜原村

参加人数 男子41名 女子29名  
計70名

- ・発表内容は次のテーマから選んだ。わかってもらうということを目的とするために、活動の内容を分担しての発表とした。

テーマ「檜原村の概要」「こんにゃく」「シクラメン・雑貨屋」「水生昆虫探し」

「三頭山登山」「木工作」「林業体験」「民宿の紹介」「民宿での生活」

- ・発表は、3人程度のグループをつくり、紙芝居をつくって見せたり、ポスターセッションの形を取ったり、クイズ形式にしたりと、発表の方法は、これまでの学習を生かしながら、グループごとに考えて、自分たちの理解したことが一番分かりやすいと考える方法を取り入れた。

## 〇特色ある活動内容

### <自然体験活動>

#### 1、水生昆虫さがし

きれいな水の流れる秋川の源流だからこそ見られる河原の虫を採取した。眺めているだけでは動物がいることが感じられない川辺ではあるが、石をひっくり返ただけで、多くの生き物をつかまえられることに気づき、児童は秋川の自然の豊かさを強く実感することができた。一人一人に、採取用の網を持たせたこと、講師の先生が活動前に採取の仕方をわかりやすく説明してくださったことにより、たくさんの生物をつかまえることができ、いきいきとした活動を展開することができた。

#### 2、三頭山の登山

夏の台風のため、頂上まで登ることはできなかったが、標高1,500mほどの見晴台まで登山した。途中の大滝では、檜原村の自然の雄大さを感じとることができた。道がせまかったり、分岐が多かったりしたため、2列歩行・1列歩行を使い分けながら登っていった。約3時間の登山であったが、途中4回休憩時間を設けたため、全員が登り切ることができた。途中、歩き慣れていないこともあって疲れを口にする児童も見られたが、登り切ったときには、どの児童も達成感を感じていた様子であった。

ただし、登山途中には休憩用のスペースが無いため、狭いところで身を寄せ合っただけの休憩になってしまったこと、下山するまでトイレが無いこと、見晴らし台の高さまで登ると思いのほか寒いこと等は、来年度に同じ活動をする際、対策を検討したい。

### <学習体験活動>

#### 1、山地の特色を活かした産業

コンニャク工場を見学し、檜原村の特色である水はけのよい土地を生かして、コンニャク 芋を育て、生の練り芋を使ってコンニャクを作っていることを学んだ。コンニャク芋の育て方の苦勞を知ったり、コンニャクに隠された工夫を知ったりすることができた。

また、シクラメン栽培ハウスでは、どうして檜原村でシクラメンが多く栽培されているのかなど、事前学習のデータではわかりえなかったことを実際に尋ねることで理解を深めることができた。

さらに、雑貨屋の見学を通して、住む人の要望に合わせて店を開いていることや具体的にどのようなものが店頭に並んでいるかを理解することができた。

#### 2、林業の重要さと必要性

フォレストイングコテージにて、林業家の方から何のために林業を行うのかを写真などのパネル

を見せながら説明していただいた。事前学習では、林業がどのようなことをするのか学習していたが、その意義や必要性までは学習していなかったの、意欲的に聞く姿が見られた。特に、日本の森林のほとんどが人工林であること、森林は手入れをしなくては荒れていくことについては、子どもたちにとっては驚きの内容であったようだ。

その後、実際に下草刈りや間伐などの林業体験をさせてもらった。全体を7グループに分け、それぞれに指導者がついたため、一人ひとりが実際に活動する時間を多くもつことができた。木が倒れる方向を導くためのロープがけに楽しさを感じたと報告する子どもが多かった。自分たちが実際に活動した後を見ることによって、光の差し込み方が確実に変化したことを実感でき、「森を育てる」という意識を体得することができた。



【間伐を実際に体験する】

### 3、民宿の方へ質問する時間の設定

事前の学習の中で、武蔵野での生活と比べながら山地の生活の特色を学んできたが、子どもたちの疑問に対して全てを解決することはできなかった。また、そこで生活する人の思いは資料から学べるものではない。そこで、民宿の方という、実際に山地に長く生活してきた方々に質問をする時間を設け、自分の課題を追究する時間とした。どの民宿でも、事前に用意してきた質問だけでなく、話を聞きながらさらに尋ねる姿が見られ、意欲的な学習が展開された。

### 4、図工での学習との連携

都民の森で、間伐材を利用したキーホルダーを制作した。学校でベニヤ板を電動のこぎりでカットし、造形遊びをする学習をしてきたことが生かされ、ほとんどの子どもがスムーズに作り上げることができた。切った後のキーホルダーに丁寧にやすりをかける姿からは、物づくりの喜びを十分に感じていることを見て取ることができた。

#### ＜生活体験活動＞

- ・各グループの中で、仕事の役割分担をし、食事の補助や整頓、風呂場の片づけなど、一人ひとりが責任をもって自分の任された仕事に取り組むことができた

### ○児童の感想

- ・みんなと泊まることはとても楽しみだった。実際に行ってみたら、ふざけていて指導員の先生にしかられもしたけれど、とても楽しく過ごせることができた。早くセカンドスクールに行きたい。
- ・三頭山に登ったり、林業を体験したりしたら、思ったより体力が必要だと感じた。
- ・コンニャクがとてもおいしかった。民宿の方が親切にしてくださってうれしかった。
- ・林業体験が一番心に残っている。どこかでまたやるチャンスをみつきたい。

### ○保護者の感想

- ・写真やビデオを見て、子どもたちの笑顔が多いのに安心した。
- ・報告会を聞いて、3日間の中でたくさんのことを学んできたことがよくわかった。
- ・プレセカンドスクールが終わってから、自分のことは少しずつ自分でやろうとする姿が見られるようになった。成長を支えて下さり、感謝している。

## ○総合的な学習の時間との関連について

- ・山地の暮らしについて、子どもたちが知りたいと思うことと、社会科の学習内容とは必ずしも一致しない。社会科と総合的な学習の時間を関連させて事前学習を組んだことによって、子どもたちの課題意識に沿った学習を展開することができた。
- ・プレセカンドスクールで学んだことを3年生や保護者に伝えるにあたって、自分たちの選択した方法で伝えることができた。また、資料を準備する時間も十分に確保することができ、実施後の学びを確かなものにすることができた。国語科でこれまでに学習してきたスピーチの方法などを総合的に生かして取り組む姿が見られた。

## ○セカンドスクールとの関連について

- ・セカンドスクールでは、山形県の鳥海山に登る予定である。登山を通して、自然を楽しむ態度を養ったり、より険しい山に挑戦しようとする気持ちを高めたりすることにつなげていきたい。
- ・セカンドスクールでは、いくつかの課題の中から選ぶため、個々に行程が異なってくる。プレセカンドスクールで、同じ活動ではあるが、課題をもって追究していく経験を積むことによって、セカンドスクールにおいて課題を選んだり、追究したりする姿勢を養っておきたい。
- ・セカンドスクールの宿泊地である少年自然の家では、民宿以上に生活の規則が要求される。4年生で、基礎的な集団生活を学び、生活習慣、マナーを見直すことによって、セカンドスクールまでに改善を図ることができると思う。



【三頭山の登山の様子】

## ○次年度に向けての反省・課題

- ・持参した薬を、子どもたちが確実に服用することができるように全て看護師が飲ませにまわったが、一方で具合を悪くする子どもがでてきて対応に追われることとなってしまった。指導員に任せられる部分と、看護師が管理しなくてはならない部分とを明確にしていくことによって、よりスムーズな看護体制がとれるようにしていきたい。
- ・教職員の宿舎と一部の児童の宿舎とを兼ねて実施したが、指導員と教職員の仕事の分担がはっきりしなくなってしまったこと、他の民宿との差を感じる子どもも少なくなったことなどが課題としてでてきた。来年度は、民宿数を1つ増やし、教職員専用の宿舎を設けたい。
- ・三頭山の登山中はトイレ休憩をとる場所が無い。万が一の際の対応をあらかじめ検討しておきたい。また、山頂付近は風が冷たく、気温もとても低かった。汗がひいてきたこともあって、子どもたちが寒さを感じている姿が多く見られた。上着をもう一枚リュックに入れて行かせるなどの対応が必要であると感じた。
- ・今年度は天候に恵まれたが、雨が強いとできない活動が多い。雨天時のプログラムも充実させ、雨だからつまらなかったとならないよう工夫したい。
- ・帰路は、圏央道のあきる野インターが完成したので、そちらから帰るようにしたい。時間の短縮にもなり、山梨側の道の崩れによる危険性の回避にもなると考える。

# 井之頭小学校

10月3日～10月5日(2泊3日)

## 〇日程表

| 10月3日(水) |               | 10月4日(木) |               | 10月5日(金) |           |
|----------|---------------|----------|---------------|----------|-----------|
| 8:00     | 学校集合、出発式      | 6:00     | 起床、朝の会        | 6:00     | 起床        |
| 8:30     | 学校出発          | 7:00     | 朝食準備、朝食       | 7:00     | 朝食準備、朝食   |
| 12:00    | 花咲森のキャンプ場到着   | 8:00     | 全体で朝の会        | 7:45     | 部屋の清掃     |
| 12:15    | 開校式           | 8:30     | キャンプ場到着       | 8:30     | 野菜畑見学     |
| 12:30    | 昼食            |          | 植物採集、リース作り    |          | 野菜収穫体験    |
| 13:15    | 魚のつかみ取り       | 11:30    | 後片付け          | 9:30     | 民宿ごとのお別れ会 |
|          | 魚の塩焼き体験       | 11:45    | 昼食            | 10:30    | キャンプ場到着   |
|          | キャンプ場内自然観察    | 12:30    | きのこ狩り         |          | アップルパイ作り  |
| 15:00    | 片品川源流見学       | 15:00    | りんご収穫体験       | 12:30    | 昼食        |
| 16:30    | 民宿の方との顔合わせ会   | 15:45    | 各宿に到着         | 13:30    | 閉校式       |
| 17:00    | 健康チェック、学習のまとめ | 16:00    | りんごジャム作り      | 14:00    | 片品村出発     |
| 17:30    | 夕食準備、夕食       | 17:00    | 健康チェック、学習のまとめ | 16:45    | 学校到着、到着式  |
| 19:00    | 民宿の方との交流会     | 19:00    | 民宿の方への手紙書き    | 17:00    | 解散        |
| 20:00    | 入浴            | 20:00    | 入浴            |          |           |
| 20:50    | 反省会と打ち合わせ     | 20:50    | 反省会           |          |           |
| 21:30    | 消灯            | 21:30    | 消灯            |          |           |

## 〇プレセカンドスクールにおける学習の概要

### ① 事前の学習内容

- ・1学期の学習において、地図の見方を群馬県や片品村を例として学習し、片品村の地理について学んだ。
- ・東京都の水道の水源地として群馬県の山間地のダムや河川について調べ、片品村と自分たちの生活とのつながりを考えた。
- ・総合的な学習の時間においても、片品村の気候、地理的な特徴、自然の様子、産業等について調べた。
- ・総合的な学習で、魚のつかみ取りやきのこ狩りなどの体験活動について、調べた。
- ・グループ活動への意識を高めるために、総合的な学習としてゴーヤを使っの調理活動を取り入れた。

# 群馬県利根郡片品村花咲

参加人数 男子25名 女子30名  
計55名

## ② 事後の学習内容

- ・体験活動や友だちとの共同生活、民宿の方とのふれ合いを振り返り、作文を書いた。
- ・事前学習や、現地での体験の中で特に興味・関心をもった事गरらについて、さらに調べを進めた。
- ・個々に調べた結果をもちより、同じテーマごとにグループを作り、グループ内で発表内容を分担して、「3年生にプレセカンドスクールについて教えよう。」というテーマで発表会を行った。

## ○特色ある活動内容

### <自然体験活動>

#### 1、魚のつかみ取り

自然の川をせきとめて、ニジマスを放流してもらい、つかみ取りを行った。靴をはいたまま川に入ったが、水の冷たさに驚いていた。社会科で、群馬県の山々からわき出た水をわたしたち都民が利用していることを学習したが、片品川の源流の清冽さを体験できた。

また、生きている魚の素早さに驚きながらも、夢中になって魚を追いかけた。そして自分でつかんだ魚を笹の茎に通して運び、塩焼きにしたが、魚は苦手という子も残さず食べていた。命ある物を食することの意味について実感することができた。

#### 2、きのこ狩り

山に入り、民宿の方を先頭に道のないところを掻き分けながら天然のきのこを探して歩いた。このような体験はほとんどの子どもにとって初めてであった。日常の青果店では見られないきのこが多く、種類の多様さにも驚いていた。きのこだけではなく、片品の山の植物についても説明を受け、食することのできるもの、つるのように生活に役立つ物、さわったり食すると危険な物などについて教わった。

収穫したきのこは、「きのこ名人」に選別してもらったが、食べられるきのこはほとんどなかった。自然の厳しさを感じ取ることができた。

#### 3、りんご狩り

2日目に片品村の特産品であるりんごの収穫体験を行った。りんご園では様々な種類のりんごを育てていること、生で食するのに適している品種や調理に向いている品種などがあること、研究を重ねて新しい品種を生み出すことなどを教わった。2種類のりんごを収穫し、1つはその場で丸かじりし、残りの1つは3日目のアップルパイに使うジャムに調理した。りんごが樹になっている様子を初めて見る子どもが多かった。

### <学習体験活動>

#### 1、片品川源流見学

山肌の所々から水がわき出て、小さな流れとなっていくところを見学した。山に降った雨水



が土によって濾過されわき出てくる様子を自らの目でとらえることができた。木道を渡りながら、あちらこちらに流れる小川を手でさわり、水のきれいさと冷たさに驚いていた。また、わき水からスタートして、やがては大きな片品川、利根川になっていくことも学習した。

## 2、野菜畑見学および収穫体験

児童は事前学習において、片品村の特産物に野菜があることを調べていた。民宿では食事に地場野菜を豊富に取り入れており、子どもたちは民宿の方がていねいに育てた新鮮な野菜を味わっていたので、興味深く野菜畑を見学し、収穫体験をすることができた。また、民宿業を営みながら農業やその他の業務に携わっていることについても知ることができた。

## <生活体験活動>

### 1、つる細工(リース作り)

民宿ごとに里山に入り、リース作りに必要なつるや木の実等を採集した。講師の方からつるの巻き方や飾りの付け方などを教えてもらい、それぞれの個性を發揮しながら作り上げた。

### 2、アップルパイ作り

2日目に収穫した紅玉をつかって作ったジャムを使って、アップルパイを作った。自分たちで取ったりんごがどうなるのか、子どもたちは大変楽しみにしていた。思い思いに作り上げたアップルパイが、大きな石釜で薪を使って焼かれる様にますます子どもたちの期待感が高まっていくのが分かった。

子どもたちにとって、忘れられない味になったようである。



【アップルパイ作り】

## ○児童の感想

- ・着いたとき、バスからおりたら空気が全然ちがって、すごくおいしい空気でした。片品村は、水がきれいでおいしかった。虫がすごくいたから、東京とちがうなあと思った。片品村は、自然がいっぱい森いっぱい、笑顔いっぱいになった。片品村と、都会のちがいがよくわかった。
- ・マスつかみでマスをささにさした時マスは血がでていたかったと思う。私はマスを一口食べたとき、はじめて生きていたマスの命を知った。たった一つの命をいただくという意味の「いただきます」は大切な言葉ということがわかった。
- ・花や木のことも知ることができて、自然と親しくなれたことが思い出だ。リース作りで達成感を知った。
- ・キノコがりで登った山はキノコがたくさんあったけど、ほとんど毒キノコだった。キノコがりをして、めったに食べられるキノコが取れないことがわかり、自然のきびしさや、やさしさを知った。いろんな道を歩いてうれしかった。
- ・初めて作ったアップルパイ。きじをうすくのばすのが、特に楽しかった。私は作るのが好きだから楽しくできた。
- ・民宿での2泊3日はとても楽しくて、ごはんもおいしかった。2日目、3日目のひまな時間に、みんなで宿の周りをリレーした。夜のねる時間の前に、みんなでウノ大会や笑い話をし、とても楽しかった。

## ○保護者の感想

- ・グループ内（仲間）の意識が高まった。助け合う気持ちが出てきた。
- ・楽しく過ごせた。特にアップルパイ作りがよくて、作ったものを家族に食べさせたとき、うれしかった。
- ・一緒に生活した人（子）の話を聞いて、学校生活ではうかがい知れない子どもたちの特徴を知ることができた。
- ・指導員の人たちが若く、接するのがたいへん楽しかったようだ。
- ・天気もよく、きれいな空気と林に囲まれて過ごしたのだなと思った。こんな中でいられるだけでも命の洗濯になったのではないかな。
- ・子どもと一緒に片品村に行ってみたいです。

## ○総合的な学習の時間との関連について

2学期の総合的な学習の中心的課題としてプレセカンドスクールに関連したことを取り上げてきた。プレセカンドスクール実施前には、「片品村を知ろう」をテーマに調べをすすめた。資料では分からなかった点や疑問に思うことは、民宿に質問を送り、交流会の折に答えていただいた。プレセカンドスクール終了後は、体験活動を中心に個々でテーマを決め、さらに調べを進めた。調べたことはファイルにまとめた。また、同じテーマごとにグループをつくり、片品村での体験活動などについて3年生に向け発表会を行った。

## ○セカンドスクールとの関連について

5年生のセカンドスクールでは7泊8日という長期の宿泊になるので、親元を離れての生活に慣れさせるということを意識して指導した。持ち物の整理や寝具の準備、決められた時間内での行動等、保護者の理解を得ながら日々取り組んできた。また、集団生活の中で、みんなが気持ちよく過ごすためにはどうすればよいかを考えさせ、子どもたち自身でめあてやルールを決めさせるようにした。体験活動については、セカンドスクールと内容が重ならないよう配慮した。

プレセカンドスクールを成功させた自信や楽しい思い出が、セカンドスクールへの期待につながっている。

## ○次年度に向けての反省と課題

- ・今年度は天候が悪かったが、星空観察を除けば予定したすべての活動を行うことができた。活動の順序などを民宿の方とともに考えることで相互理解を図ることができた。
- ・きのこ狩りの経路についてはより一層事前に綿密に打ち合わせ、時程や内容をさらに明らかにし児童の安全確保に努める。
- ・一つ一つの活動の時間を十分にとり、さらに感動のある体験となるように工夫する。
- ・三芳 P.A は交通量が多く危険であるので、別の休憩所を検討する。

# 関前南小学校

9月12日～9月14日(2泊3日)

## 〇日程表

| 9月12日(水) |                                | 9月13日(木) |                           | 9月14日(金) |                                        |
|----------|--------------------------------|----------|---------------------------|----------|----------------------------------------|
| 7:30     | 〇学校集合・出発式<br>〇学校出発             | 6:30     | 〇起床・清掃・朝食準備               | 6:30     | 〇起床・清掃・朝食準備                            |
| 9:30     | 〇檜原村郷土資料館着                     | 7:00     | 〇朝食                       | 7:00     | 〇朝食                                    |
|          |                                | 8:30     | 〇民宿出発                     | 8:30     | 〇民宿出発                                  |
|          |                                | 9:00     | 〇都民の森駐車場着<br>〇奥多摩湖を望む     | 9:00     | 〇高橋園芸ハウス見学<br>〇西川屋商店見学<br>〇井上こんにやく工場見学 |
| 10:30    | 〇フォレストコテージ着<br>〇開校式<br>〇林業体験学習 | 9:30     | 〇都民の森着<br>〇檜原村の自然(講義・実習)  | 10:30    | 〇井上こんにやく工場出発                           |
| 12:30    | 〇昼食                            | 11:30    | 〇昼食                       | 11:00    | 〇檜原小との交流会<br>〇給食                       |
| 13:15    | 〇水生昆虫観察                        | 12:30    | 〇木工教室<br>〇自然観察            | 13:15    | 〇檜原小4年生と出発                             |
| 15:15    | 〇製材所見学                         | 15:30    | 〇都民の森出発                   | 13:30    | 〇払沢の滝着                                 |
| 16:15    | 〇フォレストコテージ出発                   | 16:00    | 〇数馬分校記念館見学                | 14:30    | 〇払沢の滝出発                                |
| 16:45    | 〇民宿着・周辺散策                      | 17:00    | 〇民宿着                      | 16:30    | 〇学校着・帰校式                               |
| 17:20    | 〇入浴                            | 17:30    | 〇入浴                       | 16:50    | 〇解散                                    |
| 18:30    | 〇夕食                            | 18:00    | 〇夕食                       |          |                                        |
| 19:30    | 〇学習の記録<br>〇健康観察<br>〇明日の準備      | 19:30    | 〇学習の記録<br>〇健康観察<br>〇明日の準備 |          |                                        |
| 21:00    | 〇消灯・就寝                         | 21:00    | 〇消灯・就寝                    |          |                                        |

## 〇プレセカンドスクールにおける学習の概要

### ① 事前の学習内容

- ・社会科において、副読本「わたしたちの東京」を活用し、「山地にくらす人々」の学習を行った。「檜原村の人々は、地形を生かしてどんなくらしをしているのだろうか。」という課題をたて、各自が問題意識をもって学習にのぞむことができるようにした。
- ・理科の学習において、水生昆虫の種類、生息場所などについて事前学習した。
- ・「武蔵野自然塾」の方に、水生昆虫や檜原村で見られる動植物について教えていただいた。
- ・総合的な学習の時間(单元名「檜原たんけん隊」)のなかで、檜原村の概要について事前学習を行った。

# 東京都西多摩郡檜原村

参加人数 男子32名 女子20名  
計 52名

## ② 事後の学習内容

- ・総合的な学習の時間の活動「檜原たんけん隊」を 12 グループに分け、現地で学習したことを中心にまとめを行い、4年生の保護者と3年生児童を対象に発表会を行った。

発表課題と発表内容は次の通りである。

- ①檜原村のシクラメン作り…シクラメンハウスの様子、栽培法、特産の理由など。
- ②檜原村の水生昆虫…実際に観察した水生昆虫の捕り方、よく見つかる場所など。
- ③都民の森…生息する動植物、キーホルダーの作り方や体験の感想、作品の紹介など。
- ④檜原村の山…三頭山、檜原村を取り巻く山々の紹介など。
- ⑤檜原小学校…建物の紹介、児童の登下校の方法、交流会の様子など。
- ⑥数馬分校記念館…数馬分校の歴史、校舎内外の様子など。
- ⑦檜原村のこんにゃく作り…こんにゃくの製造方法、檜原村独自の方法など。
- ⑧雑貨屋さん…品揃え、商品配置の工夫、客へのサービスなど。
- ⑨檜原村の自然…檜原村の動植物紹介、地形を生かした産業など。
- ⑩滝…檜原村に点在する滝の紹介やその歴史など。
- ⑪鳥…檜原村に生息する鳥について。
- ⑫民宿…宿泊した3つの民宿の歴史や特色、それぞれの良さなど。

- ・学習しおりのメモ、電話やファックスによる取材、インターネット、本などから情報を収集し、新聞や絵本形式にしてまとめたり、パンフレットを作ったりして、分かりやすく伝える工夫をした。クイズあり、実物あり、写真ありで、3年生にもよく分かる説明ができた。
- ・社会科単元「わたしたちの東京都」の発展学習として、下町への社会科見学を実施し、学習発表会で調べたことを発表した。その中には、檜原村を再度、学習テーマに選ぶ児童もいて、引き続き熱心な活動が見られた。
- ・社会科「わたしたちの東京都」2 地形の特色を生かす『山地にくらす人々』に、檜原村が取り上げられている。プレセカンドスクールの体験を、直接、学習に結びつけることができ大きな成果を得られた。
- ・体験や見学等を通して学んだことをまとめ、学習発表会で紙上発表した。
- ・図工科において、製材所からいただいた木材で作品（作品名「木のカード」）を作った。
- ・国語科学習で、檜原村の印象や思い出を作文にまとめた。
- ・お世話になった人々へ心を込めてお礼の手紙を書いた。



【昆虫博士の話】

## ○特色ある活動内容

### ＜自然体験活動＞

#### 1、水生昆虫

フォレストイングコテージ「緑の休暇村」（自然体験施設）敷地内で秋川の水生昆虫について、実物を見ながら講師の話を聞くことができた。子どもたちは食い入るような目で生き物ののぞき込み、手をふれ、話に聞き入っていた。

#### 2、林業体験

林業に従事している方から、日本の森林の様子や保全、使用する道具について話を聞いた。実際に使用する大きな鎌やチェーンソーを手に取り、歓声を上げていた。

#### 3、都民の森

「都民の森」を散策し、敷地内に咲く山野草の観察を行った。武蔵野市内とはまた違う植生に驚くとともに、新しい花を見つけようと夢中になっていた。

### ＜学習体験活動＞

- ・今年、初めて実施した檜原小との交流会で相手によく分かるように関前南小の紹介をした。
- ・民宿周辺を歩きながら、村の地形の特徴、バス停やポスト、雑貨屋さん等の見学を行った。
- ・スライドを見ながら檜原村の四季おりおりの鳥や動植物について話を聞いた。
- ・都民の森の木工教室では、杉板に型をとり、電動のこぎりでキーホルダーを制作した。
- ・檜原村の特産物であるシクラメン作りの様子やこんにやく工場の見学をした。

### ＜生活体験活動＞

- ・民宿では、食事の準備や片付けを手伝ったり、浴室や部屋の清掃を行ったりした。

### ＜地域の人々とのふれあい＞

- ・創業 300 年という古い歴史のある民宿での生活、製材所、檜原村歴史資料館、数馬分校記念館、シクラメンハウス、こんにやく工場、雑貨屋見学、檜原小学校との交流などを通し、檜原村の人々の温かい人情にふれることができた。

## ○児童の感想

- ・檜原小との交流会ではドッジボールで楽しく遊びました。払沢の滝が、檜原小の友だちとの最高の思い出です。1 班との生活もいい勉強になりました。
- ・妹のためにバナナ形のキーホルダーを作ってあげました。それを持って家に帰ったら、妹が喜んでいたので、そのキーホルダーをあげました。
- ・檜原村で初めて野生のヘビを見たり、サワガニを見たり、いろいろな生き物を見ることができました。都民の森で、自分がほしいキーホルダーを作ることができてよかったです。

## ○保護者の感想

- ・帰って来るなり、満面の笑みを浮かべて、楽しかった思い出をいっきに話してくれました。その姿を見て、親の私もうれしくなりました。
- ・子どもが話してくれた檜原村や活動の様子が、ビデオ上映のおかげで、自分で見えてきたようによく分かりました。楽しく拝見させていただきました。

## ○総合的な学習の時間との関連について

単元名「檜原たんけん隊」の学習のなかで、檜原村の概要について事前学習をした。現地での学習として、林業体験、檜原村の自然観察、木工教室などの学習に取り組んだ。プレセカンドスクール実施後は、「檜原たんけん隊発表会」を計画し、3年生児童及び保護者への発表会を行った。また、今年度の学習発表会において、国語科・社会科との教科をこえた学習単元「4年生から発信します」を設定し、学習の締めくくりとした。



【丸太切り体験】

## ○セカンドスクールとの関連について

- ・学校で行う、初めての「集団宿泊体験」ということを踏まえ、参加への心構えや集団生活の指導に重点をおいた。
- ・持ち物の準備や片づけなどが自分でできるよう意識付けをした。
- ・5年セカンドスクールでの鳥海山登山を視野に入れ、精神的・肉体的準備として、三頭山登山を計画していたが、台風9号の被害の影響で入山が禁止され、実施できなかった。
- ・セカンドスクールでは、農業体験・漁業体験を予定している。5年の学習単元の一つである「林業」についてはセカンドスクールの中では体験できないので、今回、5年の学習にさきがけて林業体験を行った。

## ○次年度に向けての反省・課題

- ・台風9号の被害による登山道の損壊が激しく、入山が禁止されたため、三頭山登山は実施できなかった。復旧の具合によっては予定を変更する必要がある。
- ・檜原小学校との交流会を実施し大きな成果を得たが、檜原小学校との合同給食が来年度も可能なら、民宿との契約時に、給食費を引いて契約しておいた方が良い。



# 桜野小学校

9月19日～9月21日(2泊3日)

## 〇日程表

| 9月19日(水) |             | 9月20日(木) |              | 9月21日(金) |             |
|----------|-------------|----------|--------------|----------|-------------|
| 7:30     | 学校集合・出発式    | 6:30     | 起床・健康観察      | 6:30     | 起床・健康観察     |
| 7:45     | 学校発(バス)     | 7:00     | 朝食・片付け       | 7:00     | 朝食          |
| 9:30     | アクアライン川崎    | 9:00     | 集合・ホテル発      | 8:00     | 荷物の準備・大掃除   |
|          | 海ほたる(休憩)    | 9:15     | 那古海岸着・地引き網体験 | 8:30     | ホテル発        |
|          | アクアライン木更津   | 11:30    | ホテル着・昼食      | 8:45     | 沖ノ島着        |
| 11:15    | 野島の森着       | 12:45    | 沖ノ島着         |          | 沖ノ島探険(2日目)  |
|          | ハイキング・昼食    |          | 沖ノ島探険(1日目)   | 11:30    | ホテル着・昼食     |
| 14:15    | 野島の森発       | 16:00    | ホテル着         | 12:30    | ホテル発        |
| 14:45    | 砂山着・砂山すべり体験 | 16:45    | 入浴・活動のまとめ    | 13:30    | アクアライン木更津   |
| 15:30    | ホテル着・開校式・入浴 | 18:00    | 夕食           |          | 海ほたる(休憩・見学) |
| 18:00    | 夕食          | 19:00    | 海ほたる鑑賞会      | 15:00    | アクアライン川崎    |
| 19:00    | 活動のまとめ      | 20:00    | 活動のまとめ       | 16:00    | 学校着・解散式     |
| 20:30    | 健康観察・就寝準備   | 20:30    | 健康観察・就寝準備    | 16:30    | 解散          |
| 21:00    | 就寝          | 21:00    | 就寝           |          |             |

## 〇プレセカンドスクールにおける学習の概要

### ① 事前の学習内容

#### (1) 館山図鑑をつくろう(総合的な学習の時間)

館山について、様々な視点からテーマを考え、調べ学習をした。調べたことをもとに自然など様々な事象に進んで働きかけていく意欲を高めていくことをねらった。海の生き物について調べたり、野島の森の鳥類について調べたり、ビーチコーミングについて調べたり、石・地形・地質・砂山について調べたり等、様々なテーマから館山に迫ることができた。事後のまとめの活動につなげるためにも、同じようなテーマをもつ子ども同士でグループをつくり、行動班のグループとして、活動も共にした。

#### (2) 館山について詳しくなろう(社会科)

館山市の副読本を使用して館山の地形、産業、気候などについて学習した。とりわけ地引き網体験があることを意識して漁業についての学習も取り入れた。また、砂山のでき方なども事前に学習した。

#### (3) 集団生活における指導(学級活動)

児童が生活の流れやその日の活動の特色やねらいをつかみ、主体的に活動できるように、現地の写真やスライド等を使って事前に説明をした。また、係活動として、プレセカンド期間中の役割を分担し、仕事の内容について話し合う場を設けた。

## ② 事後の学習内容

- ・個人 一番の思い出を作文にまとめる

現地で学んだことも含めて、「館山図鑑」を完成させる。

- ・グループ 共通のテーマから、それぞれの発表形式にまとめる。

役割分担をし、発表する。

☆4年生、保護者へ：自分たちのテーマを分かりやすく伝え、お互いの発表を聞いて良いところを見つけ合う。

☆3年生へ：未体験の3年生にも分かりやすく伝える。3年生は、次年度への意欲を高める。

## ○特色ある活動内容

### 1、野鳥の森

1時間程度で回れるハイキングコースを、班ごとに時間差をつけ、絵地図をもって歩いた。途中のチェックポイントでは、シールを絵地図に貼ってもらった。途中の展望台からは、鏡ヶ浦をきれいに望むことができた。

春に青梅丘陵をグループ毎にハイキングした経験があるため、グループでの行動は協力しながら進むことができた。班で励まし合い、全員歩ききることができた。



【グループごとのハイキング】

### 2、砂山滑り体験



【急な砂山を体感】

滑る地点に行く間も、長く緩い砂山の傾斜を、息を切らせながら登った。実際に滑る地点に到着すると、始めはあまりの急傾斜に立ちすくんでいた子どもたちだったが、砂山の急斜面を何度も登り夢中になって砂を体中で体感していた。海から自然に吹き付けた砂によってできたものだという地元の方のお話や、30年後には砂山が無くなってしまいうかもしれないというお話も聞くことができ、自然の雄大さを感じながらの活動となった。

### 3、地引き網体験

ある程度網が引き上がったところでみんなで網にかからんでいる魚を捕った。今年は大量で、アジやイサキ、イカ、サバの他にも、サメやエイ、クラゲなど様々な種類の魚が揚がってきた。目の前で生きた魚が跳ね、うろこがピチピチと飛んできたこと、生きている魚を素手でさ



【みんなで引いた地引き網】

わったこと、魚をめがけて鳥が集まってきたことなど、子どもたちにとってとても印象深かったようである。また、その日の夕食に、調理された魚をいただき、食材としての生き物への感謝を実感した活動となった。

#### 4、沖ノ島探検・ビーチコーミング

無人島・沖ノ島探検の1日目は、地元の「海の鑑定団」の方々から島をぐりと一周しながら島の概要や館山の海の生き物について教えていただいた。鑑定団の方々のお話にとっても興味を持って聞き入っていた。

歩いて一周できる島の海岸線は、場所によって、いろいろな様子が見られた。また1日目と2日目では時間差があり、海水の干満の差で海岸線には様子の違いが見られた。ゴツゴツした岩の潮だまりで生き物を見つけたり、



【説明を聞きながらの散策】

地層の見える洞くつを見学したり、貝殻やシーグラスが散りばめられている砂浜でビーチコーミングをしたりと豊かな自然の中で地形や海の生き物のことを学びながら活動を思う存分楽しむことができた。

### ○児童の感想

- ・野鳥の森のハイキングでは、急な坂があつてきつかったけど、鳥の鳴き声が聞けたからよかったです。
- ・砂山は登るのは疲れたけど、下りるのは最高！びゅんびゅん滑って楽しかったです。またみんなで行きたいです。
- ・砂山は坂が急で怖かったです。滑ってみたら、砂まみれになったけれどおもしろかったです。
- ・ホテルでは、みんな一緒に寝たり、みんなで夜遊んだり、みんなで寝たふりをしたり。一番楽しかったのは、みんなと一緒にいることで、みんなでいると落ち着くんです。
- ・朝早く起きて海に行ったら、風が気持ちよかったです。網に魚がたくさんついていて、エイも紛れていました。魚を初めて触りました。なんだかウロコがざらざらしていました。
- ・地引き網体験ではくつはびちょびちょ。初めて生きている魚をつかみました。ざらざらしていて、押すともによもによしていました。
- ・鑑定団の人たちからお話を聞いて、「いろいろなものが拾えるんだなあ」と思いました。特に、亀の手の骨がすごかったです。ぼくもすごい物が拾いたくなりました。
- ・校長先生の、魚の命の話聞いて、「全部食べなきゃ」と思いました。自分に命をくれた気がして、全部食べました。
- ・ホテルの鑑賞会で見たウミホタルはすごくきれいでした。ちょっと「お母さんにも見せてあげたい。お土産にしたい」と思いました。昔の人達は、これをうまく使ってたんだなと思いました。
- ・ビーチコーミングでタカラ貝は25個位採れました。そのほかにも、フトコロ貝という小さなきれいな貝（巻き貝）も拾いました。
- ・海で、「目玉親父」みたいな形をした石を見つけました。楽しかったです。

## ○保護者の感想

- ・先生方や指導員の方のサポートにより、けがも無く楽しく過ごせたようで、ありがとうございました。
- ・友だちとの楽しい思い出話をたくさん聞かせてくれました。
- ・地引き網体験や、砂山滑り体験、ビーチコーミングなど、現地でしか体験できない素晴らしい体験ができるのが、ありがたいです。
- ・来年のセカンドスクールが今から楽しみです。

## ○総合的な学習の時間との関連について

1学期の総合的な学習の時間では、進んで課題を見つけ、関心を深めながら学習を進めることができ、自然や周囲の人に進んではたらきかけていけることをねらった。そこで、まず、身近な植物に目を向けて、自分なりに調べてまとめる「植物図鑑作り」を行った。その後、自分の調べたい動物について調べてまとめる「動物図鑑作り」を行った。そして、実施地である館山に関する興味をもとに「館山図鑑作り」へと発展していった。現地では、一人一人が自分の課題意識をもって、それぞれの活動に取り組んだ。現地指導員へも積極的に自分の疑問を投げかけ、課題を解決することができた。学校に戻った後は、事前学習と現地での体験をまとめ、学年の友だちや保護者への発表、3年生への発表など自分たちの調べたことをわかりやすく発表することを通して、自分の体験をより明確に示すことができた。

事前・現地・事後を通して、「課題をつかむ、調べる、見る、触る、感じる、まとめる、伝える」という学習の流れを体験できた。これは、今後の総合的な学習を始めとする様々な学習活動に有効的な体験である。

## ○セカンドスクールとの関連について

- ・学年合同で様々な活動を行うことで、連帯感を育て、集団として活動すること、協力することのよさを味わえるようにすることができた。
- ・現地指導員や生活指導員など、大人との関わりに目を向ける指導を重ねた。子どもたちは、自分たちの活動を支える様々な方々の願いや努力を知り、感謝の気持ちをもつことができた。
- ・公共のマナーや集団生活のルールについて、十分に指導し、活動に取り組みさせた。その結果、宿泊を伴う学習の際、子どもたちへ配慮することや課題点も明確になり、来年度の長期宿泊に向けて、今後の指導の参考になった。

## ○次年度に向けての反省・課題

- ・野鳥の森での活動は、班行動のよさを味わう活動であったが、時間が少し短かった。もう少し学校出発の時刻を早くして、ハイキングできる時間を増やしてもよい。
- ・館山でしか味わうことのできない貴重な砂山での活動の時間も、もう少し長くとってもよい。